平成24年度
事業報告書および決算報告書

平成24年4月 1日から

平成25年3月31日まで

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

【 目 次 】

○ 事業報告

I. ソフトテニスの普及振興事業

1	ソフトテニス競技規則等の制定事業	1
2	全日本ソフトテニス選手権大会等開催	1
3	地域ソフトテニス大会支援	2
4	加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援	3
5	ソフトテニスの広報活動	4
6	ソフトテニスの表彰・顕彰	5～19
7	ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業	20
8	ソフトテニスの審判員資格認定に関する事業	20～21
9	ソフトテニス用具・用品、施設の公認	22

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1	ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査	22～28
2	ソフトテニスの指導者育成	29

III. ソフトテニスの国際振興事業

1	ソフトテニスの国際振興	30～31
---	-------------	-------

[各事業を推進するための組織と財政の強化]

1	組織体制の整備と財政運営	32
2	会員登録制度の推進	32
3	記念事業準備	32

(庶務事項)

1	評議員会に関する事項	33
2	理事会に関する事項	34～36
3	理事・監事選考委員会に関する事項	36
4	専門委員会等に関する事項	37～38
5	役員・事務局職員に関する事項	39～48
6	会員登録制度の実施に関する事項	49
7	分担金に関する事項	49～51
8	補助金・助成金等に関する事項	51～52
9	寄付金・協賛金に関する事項	52
10	傷害補償制度の給付金に関する事項	52

別表1～4	(大会一覧表・技術等級認定実績・公認審判員認定実績・会員登録実績)	53～58
-------	-----------------------------------	-------

○ 決算報告

1. 財務諸表等

(1) 貸借対照表	．．．．．	60
(2) 正味財産増減計算書	．．．．．	61
(3) 正味財産増減計算書内訳書	．．．．．	62～63
(4) 財務諸表の注記	．．．．．	64～65
(5) 附属明細書	．．．．．	66
(6) 財産目録	．．．．．	67

・ 収支決算書	．．．．．	68～76
---------	-------	-------

独立監査人の監査報告書	．．．．．	77～78
-------------	-------	-------

監査報告書	．．．．．	79
-------	-------	----

1 事業報告

本連盟は、昭和58年(1983年度)以来、ソフトテニスの抱える現状や課題に対応すると共に、ソフトテニスの一層の普及振興を図るため、将来像の基本となる方向性を示す長期基本計画を策定し、その方針に沿って総合的かつ計画的に取り組んできた。

前長期基本計画は、平成23年度(2011年度)をもってその計画期間が終了したため、計画の達成状況や課題を踏まえて、平成24年度(2012年度)から平成28年度(2016年度)を計画期間とする「ソフトテニス長期基本計画2012」策定し、新たにスタートした。

平成24年度の事業遂行にあたっては、平成24年4月1日に公益認定を受けた公益財団法人として、高い社会的信用を維持し、公益目的事業を行うことを目的として、次の諸事業を積極的かつ効果的に実施した。

I. ソフトテニスの普及振興事業

1. ソフトテニス競技規則等の制定事業

- (1) ソフトテニス競技(ダブルス・シングルス)を実施するために必要な競技規則を定めることを目的として、ソフトテニスの振興と競技性の向上等、より安全に楽しく競技できるよう必要に応じて検討を行い、ソフトテニスハンドブック(競技規則・審判規則・大会運営規則)やジュニア審判マニュアルに反映を図った。
- (2) 日本で発祥した競技であることから、国際ソフトテニス連盟(以下ISTF)やアジアソフトテニス連盟(以下ASTF)における中心的なリーダー国として国際競技規則との整合性を図ると共に、英語版審判技術マニュアル(DVD)等を活用して国際普及を図った。
- (3) 国際普及や施設基準を考慮してテニスコートの規格の改訂について検討を始めた。

2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

- (1) 国内競技会を大会実施要項に基づき実施した。
 - ①別表1(P53～55)のと通りの大会日程および会場で実施した。
 - ②大会要項の改訂を実施した。
 - ア. 国民体育大会
 - ・監督は、平成24年度より公認スポーツ指導者とすることを義務づけた。
 - ・監督は、選手と兼ねることはできないこととした。
 - ・成年男子の種別に参加する都道府県は、出場種別間で1つ監督を兼ねるものとした。
 - イ. 全国小学生大会
 - ・6年生の部にシングルス種別を追加した。
 - ・参加数は、各都道府県より男女各2名以内とし、1名2,000円の参加料とした。
 - ウ. 都道府県対抗全日本中学生大会
 - ・個人戦(シングルス)の種別を追加し、参加数は、各都道府県より男女各2名(開催県4名)以内とした。
 - ・個人戦(ダブルス)の参加数を各都道府県男女4ペア(開催県8ペア)以内から3ペア

(開催県6ペア)以内に変更した。

・個人戦の試合方法について、マッチを、7ゲームから5回戦までを5ゲームとし準決勝から7ゲームに変更した。

エ. ハイスクールジャパンカップ

・各都道府県より男女1名の参加数で、平成25年度よりシングルスを導入することとした。

オ. 日本スポーツマスターズ

・参加料を1チーム36,000円から60,000円に改訂した。

*韓国より2チーム参加があった。

(2) 大会の検討と大会運営の改善

① 全日本選手権大会の検討

・NHK放送を考慮した会場の基準や進行等を工夫して「するスポーツ」と「見るスポーツ」双方を向上させるための検討を継続して行った。

② 全日本団体選手権大会の検討

・団体総合選手権大会の創設や実業団、クラブの団体対抗大会のあり方について検討した。

③ 国民体育大会の出場枠の検討

・国民体育大会の参加チーム数の増加についてシングルス導入を含めて検討を行い、(公財)日本体育協会との調整を図った。

④ 日本スポーツマスターズの充実

・日本スポーツマスターズ参加者の負担軽減等を行い、全都道府県の参加を目指して大会の充実を図った。
・平成24年度から、参加支部に対し100,000円を助成した。

⑤ 大会参加申込のシステム化

・平成24年度から主催大会の参加申込をシステムを利用して行い、参加資格のチェック等による事務負担の軽減と参加申込の効率化を図った。

⑥ 主催大会開催地への支援

・主催大会を主管し、実質的に運営している開催地の運営状況等を的確に把握し、主要事業である大会が円滑に運営されるように支援した。

⑦ 主催大会における大会運営マニュアルの活用と役割分担の明確化

・円滑な大会運営を行うため日本連盟と主管支部の大会開催にあたっての役割分担の明確化を図るため、競技、審判、広報等大会運営マニュアルの作成を進めた。

⑧ ゼッケンの統一化

・ゼッケンの表示方法をより明確にし、(公財)日本ソフトテニス連盟主催大会での統一化を図った。
・中学生については、準備期間を設け平成28年度より統一されることとなった。

3. 地域ソフトテニス大会支援

(1) 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を行った。

① 9地区選手権大会

・9地区×200,000円を助成した。

②地区高校選抜大会

・9地区×100,000円を助成した。

③10地区中学選手権大会

・10地区×100,000円を助成した。

④壮年東西対抗大会

・200,000円を助成した。

⑤超壮年東西対抗大会

・200,000円を助成した。

⑥全日本学生同好会大会

・200,000円を助成した。

4. 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援

(1) 地域グループ育成のため、次の事業を実施した。

①地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成

・地域クラブ、ジュニアクラブ等の育成の充実を図ることを目的として、各支部に対し会員登録料から下記の率により助成した。

(一般20%、高校生10%、高専10%、中学生20%、小学生50%)

②支部中学校大会への補助

・46支部×@30,000円を助成した。

③支部レディース大会への補助

・47支部×@50,000円を助成した。

④ソフトテニス週間の実施

・10月の体育の日(月)を中心とした週(金曜日から木曜日)をソフトテニス週間として定め、全国で一斉にソフトテニスを楽しみアピールした。

46支部×@100,000円を助成した。

⑤ソフトテニス愛好者増加対策

・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供する等の支部が実施する愛好者増加対策事業を支援した。

28支部×@100,000円を助成した。

・中学校に対して、愛好者の増加を目的に機関誌を配布(年2回)してソフトテニスの情報を積極的に発信した。

・一般・社会人の大会参加増加等の愛好者増加対策を検討した。

⑥指導者バンク(地域)の活用促進

・積極的に指導者バンク(地域)を活用し、競技者育成プログラム(Step-1,2)の推進および、中学校・高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者を確保・活用した。

⑦総合型地域スポーツクラブの研究

- ・ソフトテニス総合型地域スポーツクラブに参画するための研究を進めるとともに、必要な情報提供を行った。

⑧傷害補償制度の徹底

- ・制度の目的、趣旨を会員報・機関誌・ホームページ等を利用して分かり易く伝え制度活用の推進を図った。

5. ソフトテニスの広報活動

(1)メディア対策

①新聞報道の充実

- ・報道機関に対し、話題性のある広報を積極的に行った。
- ・新聞報道対応マニュアルを活用した。

②テレビ放映の充実

- ・平成13年から継続している全日本選手権大会のNHKテレビ放送を12回連続実現した。
- ・NHK,民放への積極的課題提供を行った。

(2)ホームページの運営

①ホームページ等の充実

- ・日本連盟ホームページおよびケータイホームページの充実と積極的活用を行った。
- ・日本連盟テレビ局及び各支部テレビ局の映像を通して、積極的な動画配信の広報活動を展開した。
- ・ユーストリームを活用しライブ中継を実施した。
[アジアソフトテニス選手権(中華台北・嘉義市)、日本リーグ(広島市)、
都道府県対抗全国中学生大会(伊勢市)、全国小学生大会(白子町)]
- ・過去の日本連盟主催大会の映像が、いつでも見れるように動画ライブラリーを新設し効果的広報を展開した。
- ・日本連盟ホームページを英語での閲覧を可能にして、日本のソフトテニスを広く知らしめた。

(3)広報誌発行

①機関誌「ソフトテニス」の毎月発行

- ・内容の充実と購読者募集を行った。

購読者数 支部購読 1,383名 個人購読 327名

(平成23年度) 支部購読 1,349名 個人購読 370名

②会員報を年2回発行した。

③平成24年大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。

(4)「ソフトテニスの歌」の活用

- ・日本連盟主催事業での活用と全国各地域での普及を図った。

(5) スポーツ活動を通して環境保全ならびに青少年の健全育成

①大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図った。そして、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するため、物を大切に作る生活習慣を徹底した。

- ・連盟主催大会での横断幕・ポスター・リーフレット・プログラム等の掲出及び配布した。
- ・大会会場での資源ごみの分別推進をした。
- ・マイボトルを推進し、紙コップの削減を図った。
- ・スポーツと環境保全シンポジウム等、会議に積極的に参加した。

②スポーツ活動を通して青少年の自己責任やフェアプレーの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育てる青少年の健全育成に取り組んだ。そしてソフトテニスが誰にでも誇れる格調高い競技を目指した。

- ・「フェアプレーで日本を元気に」フェアプレー宣言キャンペーン活動を推進した。
- ・マナーキッズプロジェクト(NPO)と連動し、ショートテニスを通じて日本の伝統的な礼法を体験させ、<体・徳・知>バランスのよい子供を育てる活動を推進した。
- ・全国指導者研修会議(小中高の指導者を各県から召集し25年2月実施)において「フェアプレーで日本を元気に」をテーマに(公財)日本体育協会広報スポーツ情報委員・田中安人氏を講師としてお迎えし講演をいただいた。

6. ソフトテニスの表彰・顕彰

平成24年12月2日の評議員会に先立ち、平成24年度の表彰式を執り行い993名の個人及び42団体の受賞に対して、本部功労者の井上清一(石川県)が表彰盾を、支部功労者を代表して篠邊保(愛知県)、優良団体を代表して増木博一(京都府)、優秀監督および最優秀選手を代表して小野寺剛(東京都)、ランキング選手を代表して千野一也(山梨県)、特別表彰のジュニア指導者を代表して新保俊彦(青森県)に表孟宏会長から賞状等を授与した。

表彰の内訳は、次のとおりである。

1	本部功労賞	1名
2	支部功労賞	91名
3	優良団体	41団体
4	優秀監督	19名
5	優秀選手	12名
6	ランキング	442名
7	読売スポーツ賞	1チーム(15名)
8	JOCジュニア・オリンピックカップ最優秀選手	2名
9	特別表彰	
	ジュニア指導者	426名

[表彰者名簿]

1. 本部功労者 井上 清一(日本連盟理事、石川県連盟理事長)

2. 支部功労者 別紙参照

3. 優良団体 別紙参照

4. 優秀監督

最優秀監督	実業団	男子	藤川幸徳(NTT西日本広島)	
		女子	中本裕二(NTT西日本広島)	
	大 学	男子	小野寺 剛(早稲田大学)	
		女子	小野寺 剛(早稲田大学)	
	高 校	男子	中津川澄男(東北高等学校)	
		女子	外菌 茂(中村学園女子高等学校)	
	中 学	男子	小牧幸二(上宮中学校)	
		女子	中村正直(昇陽中学校)	
	小学生	男子	北野 浩(福島県)	
		女子	川口和敏(兵庫県)	
	優秀監督	実業団	男子	成田智計(大鹿印刷)
			女子	大野美紗子(ナガセケンコー)
		大 学	男子	水田雅博(立命館大学)
			女子	西田豊明(日本体育大学)
高 校		男子	紙森隆弘(高田商業高等学校)	
		女子	林 三千夫(和歌山信愛女子短期大学附属高等学校)	
中 学		男子	前田紗知(片塩中学校)	
		女子	高原良江(昭和学院中学校)	
小学生		男子	木上 剛(和歌山県)	
		女子	高橋洋明(埼玉県)	

5. 優秀選手

最優秀選手	男 子	篠原秀典・小林幸司(日体桜友会・ミズノ)
	女 子	深澤昭恵・宮下愛未(東芝姫路)
優秀選手	男 子	穂積京之介・森田祐哉(日体桜友会・ヨネックス)
	女 子	上原絵里・阿部悠梨(ナガセケンコー)
敢闘選手	男 子	村上雄人・中本圭哉(NTT西日本広島)
	女 子	横山温香・平田清乃(ナガセケンコー)

6. ランキング 別紙参照

7. 読売スポーツ賞 第7回アジアソフトテニス選手権大会男女日本代表チーム

8. JOCジュニアオリンピックカップ

最優秀選手	男 子	船水雄太(早稲田大学)
	女 子	横山温香(ナガセケンコー)

9. 国際大会入賞者 別紙参照

10. 特別表彰

ジュニア指導者 別紙参照

平成24年度 支部功労者・優良団体

	支 部 名	支 部 功 労 者	支 部 功 労 者	優 良 団 体
1	北 海 道	佐藤 正 矩	佐藤 一 夫	札幌市立北野台中学校
2	青 森	安保 敏 彦	佐々木 邦夫	黒石鳥城ジュニアソフトテニスクラブ
3	岩 手	近江 雅 喜	菊 地 晃 秀	岩手県小学生ソフトテニス連盟
4	宮 城	山本 照 夫	佐々木 正弘	常盤木学園高等学校ソフトテニス部
5	秋 田	斎藤 義 行	桜庭 宏 子	森吉ジュニアソフトテニスクラブ
6	山 形	大西 正 明	荒田 賢 二	城南クラブ
7	福 島	岡部 宏 夫	齋藤 眞 一	西郷村ソフトテニス協会ジュニアクラブ
8	茨 城	糸賀 一 典	金子 信 行	鉾田クラブ
9	栃 木	鯨 昭 雄	長 光 則	栃木県立真岡女子高等学校ソフトテニス部
10	群 馬	杉 和 江	柴 田 耕	水上町ソフトテニススポーツ少年団
11	埼 玉	中村 康 雄	内 原 繁	大宮クラブ
12	千 葉	井上 光 子	中根 伸 一	昭和学院高等学校
13	東 京	渡辺 靖 雄	渡 邊 順 子	富士桜部屋
14	神 奈 川	柳川 真 寛	成川 敏 明	伊勢原ジュニアソフトテニスクラブ
15	山 梨	加藤 令 世	野田 治 美	みそつぼクラブ
16	新 潟	相場 良 夫	国島 孝 志	三条E T C
17	長 野	吉村 靖 一	星谷 みつ枝	辰野小学生ソフトテニスクラブ
18	富 山	田中 誠 治	島 健 二	射水市ソフトテニス協会
19	石 川	川畑 嘉 宏	堀 貴 次	—————
20	福 井	堀井 敬 三	鞠山 英 美	坂井市ソフトテニス連盟
21	静 岡	杉山 登 子	坪井 正 信	由比スポーツ少年団ソフトテニス部
22	愛 知	榊原 雪 子	篠 邊 保	中京大学
23	三 重	神崎 公 宏	柑子木 茂之	桑名サンクラブ
24	岐 阜	吉田 幸 男	伊藤 博 元	池田町立池田中学校女子テニス部
25	滋 賀	朽木 孝 晴	岡 治 和 江	—————
26	京 都	江 島 宏	—————	福知山市ソフトテニス協会
27	大 阪	黒田 隆 康	前道 淳 子	新日鐵住金製鋼所
28	兵 庫	周 茂 雄	池田 春 義	姫路獨協大学ソフトテニス部
29	奈 良	上 島 弘	上田 正 晴	大宇陀中学校
30	和 歌 山	貴志 裕 文	大矢 眞 仁	和歌山市立西和中学校ソフトテニス部
31	鳥 取	荻原 真 司	野田 千 卯	—————
32	島 根	森脇 孝 吉	佐々木 雅典	松江工業高等専門学校（男子ソフトテニス部）
33	岡 山	堀 邦 夫	黒住 英 輝	備前フレンドソフトテニスクラブ
34	広 島	安部 清 彦	梅川 元 祥	—————
35	山 口	宮田 隆 光	弘中 基 之	防府クラブ
36	徳 島	岩本 年 章	谷本 満 裕	阿波中学校
37	香 川	塩田 孝 一	—————	壺庭会
38	愛 媛	玉井 和 由	重松 倫 子	松前ソフトテニスクラブ
39	高 知	中平 儀 博	氏原 博 之	高知県東中筋ジュニアソフトテニスクラブ
40	福 岡	石田 凱 久	—————	—————
41	佐 賀	中尾 悦 次	中島 哲 男	鹿島ジュニアソフトテニスクラブ
42	長 崎	山口 昌 利	田上 伸 一	諫早ジュニアソフトテニスクラブ
43	熊 本	福岡 周 孝	一 門 卓	尚綱中学校ソフトテニス部
44	大 分	迫田 利 道	後藤 國 太	—————
45	宮 崎	園木 修 一郎	青木 重 雄	宮崎ソフトテニスクラブ
46	鹿 児 島	文岡 安 隆	川東 耕 次	吉野ソフトテニススポーツ少年団
47	沖 縄	平安名 常雄	當 銘 直 通	ペパドール
	合 計		91 名	41 団体

平成24年度 ソフトテニスランキング

総合男子				総合女子			
1	篠原 秀典 小林 幸司	東京	日体桜友会 ミズノ	1	深澤 昭恵 宮下 愛未	兵庫	東芝姫路
2	稲積 京之介 森田 祐哉	東京	日体桜友会 ヨネックス	2	上原 絵里 阿部 悠梨	東京	ナガセケンコー
3	村上 雄人 中本 圭哉	広島	NTT西日本広島	3	横山 温香 平田 清乃	東京	ナガセケンコー
4	増田 健人 峯松 健太郎	学連	同志社大学	4	佐々木 舞 大庭 彩加	広島	NTT西日本広島
5	菅野 創世 柴田 章平	埼玉 京都	川口市役所 同志社クラブ	5	小林 奈央 石井 友梨	学連	早稲田大学
6	玉川 裕司 川淵 泰直	三重 福岡	三重高クラブ ヨネックスクラブ	6	百田 志穂 藤本 涼子	兵庫	東芝姫路
6	鬼頭 貴之 川村 達郎	山口	山口教員クラブ 宇部興産	7	杉本 瞳 森原 可奈	兵庫	東芝姫路
6	花田 直弥 花田 周弥	京都	京都市役所	8	安川 真璃子 水松 彩華	埼玉	アキム
6	吉川 博之 久野 智規	山口	宇部興産	9	若田 実友子 中田 依緒里	福岡	中村学園女子高校
10	品川 貴紀 内山 睦基	学連	早稲田大学	10	中野 優 小林 美咲	広島	ロジコム NTT西日本広島
				10	奥村 すずな 黒木 瑠璃華	学連	日本体育大学

社 会 人 男 子				社 会 人 女 子			
1	稲積京之介 森田祐哉	東京	日体桜友会 ヨネックス	1	横山温香 平田清乃	東京	ナガセケンコー
2	篠原秀典 小林幸司	東京	日体桜友会 ミズノ	2	深澤昭恵 宮下愛未	兵庫	東芝姫路
3	古賀崇史 玉置雄基	岐阜	大鹿印刷	3	佐々木舞 大庭彩加	広島	NTT西日本広島
3	菅野創世 柴田章平	埼玉 京都	川口市役所 同志社クラブ	3	百田志穂 藤本涼子	兵庫	東芝姫路
5	松本佳史 田中祐太郎	茨城	日立電線	5	府藤麻未 田中ちひろ	東京	ヨネックス
5	黒羽祥平 塩寄弘騎	千葉	STEP千葉	5	徳川愛実 宮下愛美	富山	タカギセイコー
5	中本貴博 高井翔宇	大阪	大阪アカエム 履正社	5	片山冴 大木美波	京都	ワタキューセイモア
5	村田直樹 杉尾卓馬	岐阜	大鹿印刷	5	上原絵里 阿部悠梨	東京	ナガセケンコー

成 年 男 子				成 年 女 子			
1	井上和仁 小峯秋二	神奈川 富山	厚木市役所 高岡ビッグウェーブ	1	竹田佳恵 伴由美子	愛知	一宮花・花
2	上松明裕 奥村陸矢	岡山 福岡	岡山市役所 福岡GOSEN	2	寺田祥子 昇扶美代	三重 大阪	五十鈴クラブ ファニークラブ
3	篠邊保 大津竜二	愛知	東邦ガス 東邦ガス	3	田中久代 加藤美雪	千葉	昭和HD 小金原クラブ
3	川島秀万 三浦充晴	北海道	滝川西高校 M・1.1クラブ	3	山本有美 新飯田聡子	東京	杉並文化クラブ ミドウクラブ

シニア男子45				シニア女子45			
1	千野一也 堀越晴夫	山梨 東京	甲府市役所 板橋倶楽部	1	宮尾真由美 平山浩子	埼玉	所沢ペアート
2	内田隆 小澤信明	東京	言問庭球クラブ 深川テニス	2	打和久美子 神社純子	京都	クレインズクラブ
3	加藤健治 藤井忠彦	愛知	葵クラブ 知立連盟	3	田中道子 市川富子	神奈川	横浜レディース
3	明河賢 上井敏弘	滋賀	守山 関西電力クラブ	3	安藤桂子 西川淳子	神奈川	横浜レディース むつみクラブ

シニア男子50				シニア女子50			
1	原田隆 加藤茂	岐阜	岐阜しらすぎクラブ	1	岸知恵子 矢野美由紀	栃木	サンスポーツクラブ 真岡四ツ葉クラブ
2	大塚喜彦 玉岡良仁	兵庫 京都	神戸山手クラブ 京都市役所	2	金子由美 加藤君子	神奈川	横浜スマイル 三菱重工相模原
3	松舟智明 堀部秀治	愛知	ウイングクラブ NTT名古屋	3	山本悦子 坂井真由美	愛知 和歌山	すみれクラブ 和歌山LCC
3	黒岩真次 井下克也	宮崎 熊本	宮崎クラブ 天草市役所	3	内山淳子 谷地喜代子	香川 大阪	若水クラブ 大阪OB軟庭会

シニア男子55				シニア女子55			
1	有田勝介 薮政宏	山口 福岡	下関白球会 サンデークラブ	1	増田加奈 苅谷さと志	愛知	岡崎バード 一宮花・花
2	小林孝志 吉川洋一	埼玉	秩父COCクラブ 浦和あづま	2	清水さかゑ 井上光子	千葉	市原ドリーム 北柏ライフタウン
3	篠邊保 村上泰夫	愛知 静岡	東邦ガス 静岡商友クラブ	3	太田礼子 神野弓子	静岡 愛知	さぎの宮クラブ すみれクラブ
3	川島俊昭 石川雅利	静岡 千葉	商門クラブ 市川市役所	3	前野芙実子 細野敦子	岐阜	土曜会 大垣早起会

シニア男子60				シニア女子60			
1	吉野功 東好顕	大阪	南大阪クラブ 堺連盟	1	高橋道子 宮内悦子	埼玉	所沢ペアート
2	大矢眞仁 清水正章	和歌山	黒潮	2	中田三千恵 石橋美和子	東京 大阪	朝日生命クラブ フリークラブ
3	長澤輝雄 篠山明	埼玉	浦和あづま	3	飯田タク子 今西敏子	千葉	天台クラブ 幸町クラブ
3	行方茂 井田順一	埼玉	所沢ペアート	3	後藤終子 渡辺伸江	愛知	すみれクラブ

シニア男子 65				シニア女子 65			
1	木藤 勝敏 熊田 章甫	大阪 岐阜	大阪OB軟庭会 TEAM KUMA	1	酒井 賀代子 杉内 昭代	徳島	徳島県レディース連盟 徳島庭球倶楽部
2	石川 延房 岩本 義久	静岡	富士ファミリー 静園クラブ	2	大塚 恵美子 林 孝江	群馬 埼玉	高崎中央クラブ 川口クラブ
3	高橋 善盛 福島 義昭	京都 大阪	城陽クラブ 吹田クラブ	3	服部 京子 磯部 照子	愛知	すみれクラブ 津島市クラブ
3	高田 晴隆 中尾 和三	東京	言問庭球クラブ 世田谷テニス	3	羽田野 弘子 横野 久美子	愛知	あすなろクラブ すみれクラブ

シニア男子 70				シニア女子 70			
1	近江戸 興治 野地 光明	千葉 神奈川	大山口ソフト 日本スポーツマンズ	1	高羽 邦子 山田 悦子	大阪	堺ミルフィーズ 東大阪アミー
2	杉原 潔 城田 勝	佐賀 福岡	鹿島クラブ シロタスポーツクラブ	2	田中 光子 稲垣 節子	愛知	葵クラブ
3	岩島 典男 高橋 邦男	千葉 埼玉	中台テニスクラブ 上福岡クラブ	3	川村 英子 藤原 洋子	埼玉	川口クラブ
3	切山 紘 仙田 邦夫	神奈川	厚木フレンドリー 瀬谷クラブ	3	竹内 靖子 宮村 知江	埼玉	大宮クラブ 浦和けやき

シニア男子 75				シニア女子 75			
1	佐野 秀則 志賀 正尚	愛知	刈谷クラブ 豊橋協会	1	住友 康江 福田 久恵	兵庫 大阪	すずらんクラブ 枚方市連盟
2	堤 国彦 松本 久直	京都 大阪	朝霧クラブ 箕面クラブ	2	大久保 初子 高橋 栄	愛知 岡山	すみれクラブ 竜王クラブ
3	吉田 善輔 宮崎 博一	奈良 大阪	橿原クラブ 大阪庭球倶楽部	3	内海 静枝 南川 幸子	東京 愛知	世田谷 すみれクラブ
3	田万 豊廣 余田 尚正	香川 大阪	亀城クラブ 八尾市協会	3	藤樫 わか子 前平 和子	東京 埼玉	小金井テニスクラブ 川口クラブ

シニア混合 4 5				シニア混合 5 0			
1	加藤 健治 中根 治美	愛知	葵クラブ 岡崎ロングロング	1	若梅 明彦 若梅 美江子	千葉	ふれあいクラブ
2	兒玉 美幸 藤井 忠彦	愛知	大府市連盟 知立連盟	2	小沼 勉 益子 益代	茨城	日立クラブ すぴりっと
3	井上 茂雄 小玉 直子	東京	青梅ヤング	3	川野 辺武 中山 広子	埼玉	久喜栗橋テニス 天沼ファミリー
3	高倉 理美 下妻 利之	茨城	すぴりっと 白球会	3	原田 隆 原田 久美子	岐阜	岐阜しらすぎクラブ TEAM KUMA

シニア混合 5 5				シニア混合 6 0			
1	増田 加奈 小川 博	愛知	岡崎バード 三菱名古屋	1	寺門 恵子 大滝 正栄	茨城	すぴりっと 日立クラブ
2	富田 喜彦 荻谷 さと志	愛知	三菱名古屋 一宮 花・花	2	沼田 義雄 沼田 ムツ子	熊本	宇土クラブ 新地同好会
3	菅 美弥子 生駒 眞一郎	兵庫	垂水クラブ 姫路クラブ	3	木藤 勝敏 吉村 智恵	大阪	大阪OB軟庭会
3	松本 厚子 片山 栄二郎	岡山	高梁協会 粒江クラブ	3	杉山 泰久 中谷 順子	埼玉	所沢ペアート

シニア混合 6 5			
1	土屋 勝 横野 久美子	大阪 愛知	吹田クラブ すみれクラブ
2	永田 仁 行方 裕子	千葉	佐原クラブ ふれあいクラブ
3	日高 幸義 早見 恵美子	茨城	日立SST すぴりっと
3	吉川 章 杉内 昭代	兵庫 徳島	川崎重工明石 徳島庭球倶楽部

シングルスU - 14男子				シングルスU - 14女子			
1	上 松 俊 貴	岡 山	岡山理科大学附属中学校	1	笠 井 菜 々 子	広 島	鈴峯女子中学校
2	内 田 理 久	島 根	浜田第一中学校	2	吉 原 花 海	新 潟	見附西中学校
3	金 子 大 祐	茨 城	取手第一中学校	3	貝 瀬 ほ の か	新 潟	見附西中学校
3	村 上 智 基	岡 山	岡山理科大学附属中学校	3	大 貫 彩	福 島	西郷第二中学校

シングルスU - 17男子				シングルスU - 17女子			
1	船 水 颯 人	宮 城	東北高校	1	泉 谷 朋 香	大 阪	昇陽高校
2	内 本 隆 文	大 阪	上宮中学校	2	花 泉 美	和 歌 山	和歌山信愛女子 短期大学附属高等学校
3	玉 置 大 祐	岐 阜	中京高校	3	下 田 夢 奈	広 島	広島翔洋高校
3	榊 原 耕 平	北 海 道	北海道尚志学園高校	3	平 久 保 安 純	和 歌 山	和歌山信愛女子 短期大学附属高等学校

シングルスU - 20男子				シングルスU - 20女子			
1	船 水 雄 太	学 連	早稲田大学	1	横 山 温 香	東 京	ナガセケンコー
2	白 井 拓 巳	学 連	明治大学	2	徳 川 愛 実	富 山	タカギセイコー
3	能 口 拓 磨	学 連	早稲田大学	3	西 村 美 咲	和 歌 山	和歌山信愛女子 短期大学附属高等学校
3	井 原 陽 平	大 阪	上宮高校	3	山 田 優 菜	三 重	三重高校

シングルス男子				シングルス女子			
1	増田 健人	学連	同志社大学	1	小林 奈央	学連	早稲田大学
2	中本 圭哉	広島	NTT西日本広島	2	深澤 昭恵	兵庫	東芝姫路
3	坂口 亮太	愛知	東邦ガス	3	柿崎 あやの	学連	日本体育大学
3	品川 貴紀	学連	早稲田大学	3	杉本 瞳	兵庫	東芝姫路
5	高橋 拓未	学連	早稲田大学	5	徳川 愛実	富山	タカギセイコー
5	村上 雄人	広島	NTT西日本広島	5	阿部 悠梨	東京	ナガセケンコー
5	能口 拓磨	学連	早稲田大学	5	森原 可奈	兵庫	東芝姫路
5	小栗 元貴	学連	早稲田大学	5	府藤 麻未	東京	ヨネックス

大学男子				大学女子			
1	増田 健人 峯松 健太郎	学連	同志社大学	1	石井 友梨 小林 奈央	学連	早稲田大学
2	桂 拓也 九島 一馬	学連	早稲田大学	2	奥村 すずな 黒木 瑠璃華	学連	日本体育大学
3	林田 和樹 巽 慎也	学連	日本体育大学	3	大相 朝加 佐々木 遥	学連	中京大学
3	玉沢 将己 足立 卓磨	学連	同志社大学	3	北川 愛 岡田 博名	学連	関西学院大学
5	小栗 元貴 船水 雄太	学連	早稲田大学	5	岸川 美有紀 大成 梓	学連	東京女子体育大学
5	丸中 大明 鈴木 琢己	学連	中央大学	5	柏原 真由美 大槻 麗	学連	早稲田大学
5	荻野 光彦 能口 拓磨	学連	早稲田大学	5	柿崎 あやの 熊井 瞳	学連	日本体育大学
5	品川 貴紀 内山 睦基	学連	早稲田大学	5	砂原 由侑 小林 優美	学連	青山学院大学

高 校 男 子				高 校 女 子			
1	玉置大祐 安藤圭祐	岐阜	中京高等学校	1	中山真衣 下田夢奈	広島	広島翔洋高等学校
2	須藤大貴 山本祐輝	奈良	高田商業高等学校	2	中川瑞貴 高畑茉侑	富山	高岡西高等学校
3	立木雅也 真野文暁	岐阜	中京高等学校	3	西村美咲 平久保安純	和歌山	和歌山信愛女子 短期大学附属高等学校
3	吉沢敦希 工藤浩輔	宮城	東北高等学校	3	山田優菜 土井さくら	三重	三重高等学校
5	永野慎悟 榊原耕平	北海道	北海道尚志高等学校	5	加藤楓 山瀬侑希	東京	文化学園大学 杉並高等学校
5	河村侑哉 河辺潤也	広島	広島翔洋高等学校	5	荒木絵理 佐藤千浪	山形	羽黒高等学校
5	石井佑一 難波洋行	岡山	倉敷工業高等学校	5	宇都宮歩 井上笑吏奈	愛媛	川之石高等学校
5	岡慶彦 山内雅樹	山口	長府高等学校	5	小路彩佳 越智あゆみ	福岡	中村学園女子高等学校
9	野田和明 太秦健	京都	西城陽高等学校	9	中平樹里 川端理沙	大阪	四天王寺高等学校
9	鈴木健介 郷貴夫	岐阜	中京高等学校	9	花泉美 林由紀子	和歌山	和歌山信愛女子 短期大学附属高等学校
9	坂本州平 江藤英司	福岡	東福岡高等学校	9	小谷菜津美 西本小雪	広島	広島翔洋高等学校
9	齋藤大介 渡邊達陽	山形	山形中央高等学校	9	河浪佑 泉谷朋香	大阪	淀之水昇陽高等学校
9	江原茂 小田桐崇康	宮城	東北高等学校	9	名原遥 中山優華	広島	清水ヶ丘高等学校
9	高崎直人 佐藤健太	宮城	東北高等学校	9	森田奈緒 松家梓	広島	広島翔洋高等学校
9	船水颯人 伊藤健人	宮城	東北高等学校	9	山田ひかる 徳田杏菜	神奈川	相洋高等学校
9	穂満直輝 福永翔平	鹿児島	鹿児島商業高等学校	9	山田朋夏 高橋智美	宮城	東北高校

中 学 男 子				中 学 女 子			
1	吉 信 克 也 上 松 俊 貴	岡 山	岡山理大付属中学校	1	小 山 舞 鈴 木 梨 沙	福 島	西郷第一中学校
2	村 上 智 基 杉 山 奨 悟	岡 山	岡山理大付属中学校	2	貝 瀬 ほ の か 吉 原 花 海	新 潟	見附西中学校
3	内 本 隆 文 丸 山 海 斗	大 阪	上宮中学校	3	中 井 理 穂 増 田 文	和 歌 山	和歌山信愛女子 短期大学附属中学校
3	奥 村 勇 介 奥 村 亮 介	滋 賀	安土中学校	3	青 山 み つ る 柘 植 宥 美	愛 知	安城西中学校
5	濱 田 剛 西 畑 直 輝	和 歌 山	西和中学校	5	永 尾 雪 花 中 崎 萌	大 阪	昇陽中学校
5	上 岡 俊 介 岩 本 修 汰	大 阪	上宮中学校	5	権 田 芽 伊 十 九 浦 彩 香	東 京	千代田女学園中学校
5	永 井 宏 典 倉 松 克 之	埼 玉	杉戸中学校	5	森 山 之 乃 華 横 田 真 央	大 分	神崎中学校
5	山 根 稔 平 内 田 理 久	島 根	浜田第一中学校	5	笠 井 佑 樹 花 岡 希	和 歌 山	和歌山東中学校

小 学 男 子				小 学 女 子			
1	伊 藤 端 哉 加 藤 晃 基	岐 阜	多治見ジュニアクラブ	1	岡 田 未 来 田 川 美 怜	三 重	熊野スポーツ少年団
2	北 野 亮 介 檜 山 遥 斗	福 島	西郷村協会ジュニアクラブ	2	高 橋 明 日 香 矢 作 舞 彩	埼 玉	わかくさテニスクラブ
3	中 西 夏 輝 梅 原 嵩 矢	京 都	城陽ジュニアクラブ	3	中 西 麻 琳 入 部 優 花	奈 良	奈良USJ ニューウィンズクラブ
3	室 智 輝 森 山 竣 矢	大 分	大志生木スポーツ少年団	3	竹 田 真 樹 木 瀬 晶 絵	兵 庫	姫路ジュニアクラブ
5	田 中 康 文 坂 本 貫 太	宮 崎	スターキッズ	5	松 井 玲 奈 南 歩 果	埼 玉	鴻巣パンジーテニスクラブ
5	西 迫 敬 人 大 友 駿	岐 阜	岐南ジュニア	5	松 本 麻 奈 久 保 菜 月	山 口	岩国市ジュニアクラブ
5	下 原 涼 太 山 本 大 陸	兵 庫	西宮ジュニアクラブ	5	鈴 木 優 美 高 橋 る な	神 奈 川	横浜PSC
5	矢 野 颯 人 前 田 拓 夢	和 歌 山	和歌山・橋本 ジュニアクラブ	5	岩 崎 彩 大 塚 玲 香	和 歌 山	和歌山L. C. C

国 際 大 会 入 賞 者

第7回アジアソフトテニス選手権大会（2012/中華台北・嘉義市）

1 国別対抗

団 長：神崎 公宏

優 勝 日本男子チーム

監 督：斉藤 広宣 コーチ：中堀 成生 トレーナー：川上 晃司

選 手：水澤 悠太・岩崎 圭・篠原 秀典・小林 幸司・柴田 章平・長江 光一
中本 圭哉・船水 雄太

優 勝 日本女子チーム

監 督：田中 弘 コーチ：高川 経生 トレーナー：森 麻美

選 手：上原 絵里・阿部 悠梨・杉本 瞳・森原 可奈・横山 温香・平田 清乃
小林 奈央・大庭 彩加

2 女子シングルス

優 勝 杉本 瞳

3 ミックスダブルス

優 勝 小林 奈央・中本 圭哉 ペア

第 3 位 上原 絵里・岩崎 圭 ペア

4 女子ダブルス

準 優 勝 上原 絵里・阿部 悠梨 ペア

平成24年度 特別表彰(ジュニア指導者)

	支部名	1	2	3	4	5
		6	7	8	9	10
1	北海道	森 樟太郎	伊藤 聡夫	小西 公人	冬澤 実和	志賀 恭子
		柳沢 勇二	蝦谷 俊明	坂東 孝俊		
2	青森	風穴 武寿	豊巻 哲司	小野 瑠美子	谷川 松義	小田桐 真由美
		宮腰 優子	豊巻 隆	伊丸岡 みつる	新保 俊彦	豊巻 百合子
3	岩手	宮 勳	及川 浩行	老川 重男	福田 賢一	佐藤 順
		山田 雅宏	松高 正俊	井上 志津子		
4	宮城	菅原 泰一	鶴谷 圭二	佐藤 政則	伊藤 勝則	乍 千賀子
		森 邦夫	澤畑 康雄	今野 弘樹	宍戸 善幸	
5	秋田	若松 大二郎	福田 浩	近藤 英之	伊藤 義広	向島 弘平
		後藤 学	菊地 國幸	渡邊 正人	高橋 拓朗	金持 喜義
6	山形	丸山 隆志	鹿野 智博	鈴木 雄一郎	沓澤 卓男	
7	福島	佐藤 学	二階堂 裕之	齋藤 嘉徳	小林 慎司	服部 元一
		安達 哲弥	坂本 孝夫	権藤 善弘	大澤 美幸	合津 憲一
8	茨城	長谷部 博	豊田 文子	小野寺 信行	長瀬 隆一	木村 元宣
		園部 文子	塚本 千代子	大場 由雄	落合 和美	湯沢 憲一
9	栃木	秋澤 真二	長谷川 賢一	平山 一浩	山崎 浩	宇梶 信一
		湯澤 昌裕	川崎 賢一			
10	群馬	須賀 博之	原田 佳幸	森田 年	新倉 昌彦	今泉 雅史
		青木 裕治	岡田 健男	岡村 二郎	間庭 純	村上 貴
11	埼玉	杉田 好範	白田 英雄	金井 譲二	櫻井 克彦	飛田 一三
		駒井 信亮	八波 俊介	田中 幸夫	川原 道雄	柴崎 充朗
12	千葉	瀧口 光雄	瀧口 洋子	平田 義男	深谷 候丞	村越 邦光
		高橋 秀博	山口 康子	田邊 加津子	市原 重幸	宇田川 加代子
13	東京	鈴木 一利	尾形 耕一	西谷 寿泰	大河原 昭広	高橋 茂
		皆川 敏行	小峰 誠			
14	神奈川	吉田 美苗	松田 敦子	下山 秀子	巽 健	遠山 君江
		石井 朝方	小見 勇	伊東 和彦	小林 弘満	吉田 正
15	山梨	仲澤 均	藤本 克己	小林 光弘	雨宮 由美	矢崎 守仁
		小林 康行	萱沼 益夫	廣瀬 昇悟	雨宮 毅	宮下 昭夫
16	新潟	細貝 政俊	鈴木 勝雄	相澤 栄	本間 俊文	渡辺 学
		桑原 通泰	大屋 雄二	森田 雅弘	安部 一晴	関 義信
17	長野	正田 武志	柏原 秀夫	林 豊	等々力 俊男	久保田 博
		堀内 洋一	土屋 和博	増澤 愛子		
18	富山	杉山 誠一	大石 真吾	小倉 恵美	松浦 勉	福井 康弘
		晩田 信二	近藤 康範	清田 義之	松浦 友里恵	大鋸屋 健一
19	石川	長元 実	滝井 元之	本多 孝志	宮本 猛	奥野 睦
		山下 実	升田 政義	島田 俊朗	浅村 起嘉	橋口 有康
20	福井	三村 晴基	池田 秀樹	庄村 英二	西野 正剛	東 弘行
		三上 隆央	堀井 敬三	今城 他家男	内山 保彦	
21	静岡	吉田 幸正	岩田 隆	鈴木 芳治	碓井 由美子	栗山 桂
		宮崎 直樹	平野 修	鈴木 文夫	吉田 克彦	岩田 和也
22	愛知	高場 武雄	清水 恒義	伊達 誠	岩瀬 文夫	石川 八仁
		木村 好伸	牧 壮一	石原 達也	阪野 智洋	今枝 雄二
23	三重	田ヶ原 博史	川喜田 博行	神崎 ひとみ	木下 雅司	山下 学
		濱野 勝弘	結城 俊宗	小西 淳男	炭谷 康正	橋本 直也

平成24年度 特別表彰(ジュニア指導者)

	支部名	1	2	3	4	5
		6	7	8	9	10
24	岐阜	新川 敏郎	日比野 義和	矢橋 善次郎	安田 敏明	藁浦 信之
		齋藤 英樹	加藤 幹雄	中村 康典	徳田 太久夫	松田 克志
25	滋賀	竹田 裕幸	平井 千鶴	吉野 香奈恵	八田 健司	小澤 圭司
		竜 綾華	中村 紀生	土肥 道代		
26	京都	南部 照一	寺田 勉	土田 康輔	山内 照幸	鈴木 一彰
		大塚 進	構井 和美	田中 和政	浅圖 俊行	吉下 恵美子
27	大阪	清水 洋子	辻元 宏幸	石田 純	堀切 浩代	中山 文子
		竹田 耕治	世利 博得	河合 潤二	下村 康志	今井 博文
28	兵庫	川口 和敏	北浦 祐二	大村 裕	和田 憲明	和田 智恵美
		大頭 弘義	藤田 忠彦	山本 健一	宮下 徹	有本 直道
29	奈良	岩本 寿成	前田 えり子			
30	和歌山	西畑 雅司	古田 清和	久保 雅秀	中尾 充雄	田村 圭史
		高山 勉	辻井 清	辻 慶一	中西 章	吉川 豊
31	鳥取	小林 健治	秋田 幸恵	平尾 篤	山本 貴大	加藤 一
		中原 登				
32	島根	原 伸次	森山 紀	山下 直樹	勝田 友章	吉谷 不美男
		三代 達明	高橋 敏行	河上 康斎	錦織 慶直	西 まゆみ
33	岡山	小島 享	高田 圭一	前田 正	安井 豊夫	坪井 昭人
		大守 徹	池井 正典	眞野 朋彦	西原 浩	岩瀬 禎孝
34	広島	梅川 元祥	山元 真治	藤岡 敬穩	三島 直己	中田 賢司
		花野 昭彦	柳道 国光	西永 満彦	吉井 義則	川口 淳
35	山口	福原 賢治	福田 光正	平原 隆治	岡藤 晋治	中野 恭
		石内 幹登	水本 隆行	畦森 一清	小原井 康彦	蔵永 孝子
36	徳島	矢部 淳	清水 浩三	吉田 速人	横田 正紀	竹原 弘人
		仁木 博史	松本 賢一	川真田 撰弥	角 知弘	山本 博司
37	香川	小西 俊博	豊岡 康秀	池田 泰裕	長尾 厚夫	喜田 有紀子
		前場 悦子	大塚 章司	渡邊 正広	吉村 基美	
38	愛媛	渡部 伸貴	小田 隆嗣	大西 正子	小村 亜喜	樋口 淳一
		織田 豪	正岡 義晶	大西 誠	槇 光一郎	須山 博信
39	高知	黒石 正雄	大石 将之	堀内 広美	高橋 佳奈	坂東 敦子
		中平 儀博	花岡 俊仁	山本 正史	和泉 博文	佐竹 生代
40	福岡	樋口 和親	久保 利夫	古賀 秀勝	田中 衛	寺崎 精一
		野田 智秀	河野 徹	熊谷 正和	田邊 重喜	宮本 厚司
41	佐賀	山田 義治	川原 俊彦	脇部 秀彦	徳島 繁樹	高木 良幸
42	長崎	木村 サワ子	北川 俊子	田上 三徳	小田 裕介	長島 聡
		奥村 彰英	田中 里美	吉武 俊雄	辻村 仁男	下田 晃弘
43	熊本	西浦 彰洋	瀬口 明	宮田 澄雄	平尾 悟	池田 利信
		徳成 聡	山中 安樹	高宗 勝暁	西田 幸司	立野 健一
44	大分	藍澤 昭八	後藤 哲夫	田原 明紀	井上 英樹	
45	宮崎	鮫島 福弘	平林 美則	末永 タマキ	松尾 純子	中村 陽一
		西岡 知雄	西岡 由海子	大坪 拓也	長友 雄次	内田 忠美
46	鹿児島	豊巻 浩司	五百路 広幸	小路 竹子	小路 清美	三角 常德
		藤元 弘毅	大園 奈々子	加藤 秀俊	小倉 和洋	田尻 寿
47	沖縄	嵩原 栄勇	稲福 吉昭	宮里 盛淳	普天間 富士子	長堂 嘉明
		平良 修	城間 盛敏	与那嶺 育子	永山 清和	島尻 雅史

7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定に関する事業

(1) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

等級	名誉 指導員	M a	E x	S-Ex	S p	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級	計
平成24年度	1	0	88	21	320	12	374	1,109	1,560	3,042	6,527
平成23年度	0	0	86	19	422	13	413	1,135	1,481	3,124	6,693

(注) 平成24年度都道府県別認定者数は別表3(P56)に掲載

(数値:名)

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人 数	6,249	9,156	7,545	7,446	6,693	6,527

(2) 技術等級システムを活用して認定手続きを行い資格者管理の効率化を図り、大会申込システムと連動して大会参加資格のチェックを行った。

(3) 技術等級資格取得者を増大するため、大会実績による取得の見直しを図った。

8. ソフトテニスの審判員資格認定に関する事業

(1) 公認審判員の認定を次のとおり行った。

(数値:名)

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
マスター レフェリー		37	64	76	75	60	71
マスター アンパイヤー		38	38	35	23	18	46
1 級		267	225	352	324	261	232
2 級	一 般	10,321	11,083	9,601	9,577	9,077	9,507
	高 校	19,275	18,578	15,918	17,557	17,574	19,665
ジュニア		23,453	29,094	29,452	31,643	31,318	36,746
計		53,391	59,082	55,434	59,199	58,308	66,267

(注) 平成24年度都道府県別認定者数は別表2(P57)に掲載

(2) 1級審判員の検定会(参加者:92名)と研修会(参加者:220名)を、次のとおり実施した。

	実施期日	会場	参加者(名)
検定会	平成25年 1月26日～27日	東京都・大森スポーツセンター	54
	平成25年 2月 9日～10日	長崎県・長崎県立総合体育館	38
研修会	平成25年 2月10日	福島県・福島市国体記念体育館	46
	平成25年 2月24日	神奈川県・相洋高等学校体育館	51
	平成25年 2月 3日	新潟県・上越市教育プラザ	9
	平成25年 2月 9日	三重県・四日市中央緑地体育館	14
	平成25年 2月17日	奈良県・天理大学体育学部体育館	30
	平成25年 2月24日	鳥取県・淀江体育館	34
	平成25年 1月20日	徳島県・徳島市立青少年交流プラザ	21
	平成25年 2月17日	佐賀県・唐津市文化体育館	15

(3) ソフトテニスハンドブック、ジュニア審判マニュアル等を販売ならびに配布した。

(数値:冊数)

年度	ソフトテニス ハンドブック	採点票	オーダー票	イエロー カード等	ジュニア審判 マニュアル
平成24年度	23,448	4,837	1,273	23,448	41,300
平成23年度	21,195	4,461	828	21,216	33,369

(4) 派遣審判員の実施

- ・日本連盟主催大会(日本リーグ)に主管支部の所属ブロックから審判員を派遣し、審判員技術と資質の向上を図った。

(5) 審判技術DVDの活用

- ・日本連盟で作成したDVDを審判技術向上のために積極的に活用した。

(6) 審判認定システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化と、大会申込システムとの連動を図った。

9. ソフトテニス用具・用品、施設の公認

(1) 愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう用具・用品、施設の公認に関し、次の事業を行った。

①更新手続きを承認した。

(P50(3)維持会費ア.公認メーカー イ.施設業者を参照)

②ラケットの証紙、ネットの証布を発行した。

(数値:枚)

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
ラケット証紙	418,290	420,850	353,385	434,124	411,988	431,977
ネット証布	3,200	2,700	3,450	2,500	1,124	3,100

③競技者に分かりやすいユニフォーム等着用基準の見直しを図った。

II. ソフトテニスの競技力向上事業

1. ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査

(1) 競技力向上

* 世界No.1の競技力の維持を目指した競技力向上に関し、次の事業を実施した。

1) 競技者育成プログラムの推進

・一貫指導システムの構築を図り、競技者育成プログラムをStep1からStep5の過程を経て実施することにより、競技力を向上させた。①、②はスポーツ振興くじ助成事業、

③はスポーツ拠点化助成事業として実施。

① Step-1,2 47都道府県で強化を実施した。

〈各支部に対して、400,000円を助成した。〉

②Step-3(U-14・U-17・U-20/男・女)が8ブロックで下記のとおり強化練習会兼選考会を実施した。

ブロック名	期 日	参加選 手数	各支部 代表	カテゴリー別 指導者	ブロック 運営委員	データ 管 理	日本連盟 運営委員	日本連盟 強化委員	総 計
北海道・東北(宮城県・仙台市)	8/31～9/2	165	6	28	4	4	1	1	209
関 東(東京都・江東区)	8/30～9/1	187	7	32	4	4	1	1	236
北信越(長野県・松本市)	9/15～17	117	5	20	4	4	1	1	152
東 海(三重県・四日市市)	8/22～24	95	3	16	4	4	1	1	124
近 畿(和歌山県・和歌山市)	8/24～26	142	6	24	4	4	1	1	182
中 国(広島県・三次市)	8/24～26	111	5	20	4	4	1	1	146
四 国(徳島県・高知市)	8/24～26	95	4	16	4	4	1	1	125
九 州(熊本県・熊本市)	8/31～9/2	187	8	32	4	4	1	1	237
合 計		1,099	44	188	32	32	8	8	1,411

③第7回ソフトテニスジュニアジャパンカップ「競技者育成プログラム(Step-4)」を下記のとおり実施した。

期 日： 11月23日・26日(強化練習会兼選考会)

11月24日～25日(第7回ジュニアジャパンカップ)

会 場： 宮崎市生目の杜運動公園テニスコート・宮崎市久峰総合公園テニスコート

選 手： U-14(男子:38名・女子:40名)計78名

U-17(男子:38名・女子:38名)計76名

U-20(男子:32名・女子:36名)計68名

指 導 者： 24名(各カテゴリーの男女別に4名)

運営委員： 32名

競技委員： 54名

・ Step-5 全日本U-14,U-17,U-20として強化合宿を実施した。

・一貫指導システム確立のための指導理念、指導法ならびに指導内容の検討

・競技者育成プログラムを推進するために指導マニュアルを活用して推進した。

・「指導教本」「コーチ教本」「指導マニュアル」「DVD世界に翔ばたけトッププレーヤーへの道」の更なる検討そして改訂について継続して協議した。

2)ナショナルチーム及び日本代表チームの強化合宿

①ナショナルチーム(男子、女子とも)は年6回の強化合宿を次のとおり実施した。

性別	回数	実施 期 日	参加者(名)		会 場
			スタッフ	選手	
男子	1	平成24年 4月26日～ 5月 1日	3	18	広島県・広島市
	2	平成24年 6月 1日～ 6月 6日	3	8	広島県・広島市
	3	平成24年 7月 5日～ 7月10日	3	8	兵庫県・三木市
	4	平成24年 9月13日～ 9月18日	3	8	中華台北・嘉義市
	5	平成24年10月29日～11月 1日	3	8	鹿児島県・鹿児島市
	6	平成25年 2月16日～ 2月21日	3	16	三重県・四日市市/鈴鹿市
女子	1	平成24年 4月12日～ 4月17日	3	16	広島県・広島市
	2	平成24年 6月 1日～ 6月 6日	3	8	広島県・広島市
	3	平成24年 7月 5日～ 7月10日	3	8	兵庫県・三木市
	4	平成24年 9月13日～ 9月18日	3	8	中華台北・嘉義市
	5	平成24年10月29日～11月 1日	3	8	鹿児島県・鹿児島市
	6	平成25年 2月10日～ 2月15日	3	16	三重県・四日市市/鈴鹿市

(注1) 上記強化合宿は(公財)日本オリンピック委員会の補助事業である。(11,168,000円)

②全日本U-14. U-17. U-20(男子、女子とも)年2回の強化合宿を次のとおり実施した。

性別	カテゴリー	実施期日	参加者(名)		会場
			スタッフ	選手	
男子	U-20	平成24年 4月28日～ 5月 1日	3	15	大阪府・大東市
	☆ U-20	平成25年 2月16日～ 2月21日	3	16	三重県・四日市市
	U-17	平成24年 5月14日～ 5月18日	3	20	三重県・四日市市
	☆ U-17	平成25年 2月16日～ 2月21日	3	20	三重県・四日市市
	U-14	平成24年 4月25日～ 4月30日	3	20	三重県・鈴鹿市
	☆ U-14	平成25年 2月16日～ 2月21日	3	20	三重県・四日市市
女子	U-20	平成24年 4月12日～ 4月17日	3	16	広島県・広島市
	☆ U-20	平成25年 2月10日～ 2月15日	3	12	三重県・四日市市
	U-17	平成24年 5月13日～ 5月18日	3	16	東京都・八王子市
	☆ U-17	平成25年 2月10日～ 2月15日	3	20	三重県・四日市市
	U-14	平成24年 5月21日～ 5月25日	3	21	広島県・三次市
	☆ U-14	平成25年 2月10日～ 2月15日	3	20	三重県・四日市市

(注2) ☆印は、日本スポーツ振興センターの助成事業である。(7,213,000円)

3)競技力向上のための海外遠征

・次の国際大会へ選手を派遣し、競技力の向上を図った。

*第11回チャイニーズカップ

中国・台州市において、6月12日(火)～6月17日(日)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア 選手団

スタッフ	高川経生(女子ナショナルチームコーチ) 中津川澄男(男子U-20チームコーチ)
男子選手	松口友也(ヨネックス) 鹿島鉄平(ヨネックス) 樫本泰昭(関西学院大学) 青木雅彦(愛知学院大学) 船水颯人(東北高校) 工藤浩輔(東北高校)
女子選手	徳川愛実(タカギセイコー) 長尾結衣(タカギセイコー) 百田志穂(東芝姫路) 近藤めぐみ(東芝姫路) 川原梨紗子(東芝姫路) 小林美咲(NTT西日本広島)

イ 参加国 日本 中国 韓国 中華台北 北朝鮮 タイ モンゴル

ウ 成績 団体戦 女子:準優勝

*第20回日・韓・中ジュニア交流競技会(ソフトテニス)

韓国・光州広域市において、8月24日(金)～28日(火)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア 選手団

団 長	井上 創(高体連)
男子監督	古賀一人(全日本U-17男子チーム監督)
女子監督	岡村勝幸(全日本U-17女子チーム監督)
トレーナー	吉川友巳奈(全日本U-17女子チームトレーナー)
男子選手	今田瑞基(岡山理科大学附属高校) 塩田 顕(高田商業高校) 須藤大貴(高田商業高校) 工藤浩輔(東北高校) 三木 光(高田商業高校) 山口晃輝(尽誠学園高校)
女子選手	西村美咲(和歌山信愛女短附高) 半谷美咲(文化学園大学杉並高校) 尾上胡桃(鈴峯女子高校) 花 泉美(和歌山信愛女短附高) 森田奈緒(広島翔洋高校) 松家 梓(広島翔陽高校)

イ 参加国 日本、韓国、中国

ウ 成績 男子 1位(3勝) 女子 1位(3勝)

*第7回アジアソフトテニス選手権大会

中華台北・嘉義市において11月15日(木)～11月20日(火)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア 選手団

団 長	神崎公宏(理事・強化委員長)
男子監督	斉藤広宣(男子ナショナルチーム監督)
コーチ	中堀成生(男子ナショナルチームコーチ)
トレーナー	川上晃司(男子ナショナルチームトレーナー)
選手	水澤悠太(NTT西日本広島) 岩崎圭(NTT西日本広島) 篠原秀典(日体桜友会) 小林幸司(ミズノ) 中本圭哉(NTT西日本広島) 長江光一(NTT西日本広島) 柴田章平(同志社クラブ) 船水雄太(早稲田大学)
女子監督	田中 弘(女子ナショナルチーム監督)
コーチ	高川経生(女子ナショナルチームコーチ)
トレーナー	森 麻美(女子ナショナルチームトレーナー)
選手	上原絵里(ナガセケンコー) 阿部悠梨(ナガセケンコー) 杉本 瞳(東芝姫路) 森原可奈(東芝姫路) 大庭彩加(NTT西日本広島) 小林奈央(早稲田大学) 横山温香(ナガセケンコー) 平田清乃(ナガセケンコー)
役 員	工藤敏已(医科学部会委員) 山本裕二(医科学部会委員)

イ 参加国 日本 中華台北 韓国 北朝鮮 インド インドネシア
カザフスタン キルギスタン ラオス マレーシア モンゴル
マカオ ネパール フィリピン タイ タジキスタン カンボジア

ウ 成績

男子団体 優勝
女子団体 優勝
女子ダブルス 準優勝:上原絵里・阿部悠梨
女子シングルス 優勝:杉本瞳
ミックスダブルス 優勝:小林奈央・中本圭哉
第三位:上原絵里・岩崎圭

(注)スポーツ振興センター助成金 1,787,000円

*第10回中山杯国際ソフトテニス大会

中華台北・台中市に於いて、平成25年3月30日(土)～3月31日(日)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア 選手団

監督 田中 弘(女子ナショナルチーム監督)
男子選手 丸中大明(中央大学) 鈴木琢巳(中央大学)
女子選手 小林奈央(早稲田大学) 石井友梨(早稲田大学)

イ 参加国 日本 中華台北 韓国 モンゴル

ウ 成績 男子シングルス 優勝:鈴木琢巳
第3位:丸中大明
女子ダブルス 準優勝:小林奈央・石井友梨
女子シングルス 準優勝:小林奈央
ミックスダブルス 優勝:小林奈央・鈴木琢巳
準優勝:丸中大明・石井友梨

*第9回ハンガリー国際大会

ハンガリー・ブタペスト市において、8月24日(金)～26日(日)まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した。

ア 選手団

スタッフ 中堀成生(男子ナショナルチームコーチ)
川上晃司(男子ナショナルチームトレーナー)
男子選手 松口友也(ヨネックス) 山口大地(日体桜友会)
桂 拓也(早稲田大学) 九島一馬(早稲田大学)
女子選手 小林奈央(早稲田大学) 小泉友梨恵(早稲田大学)

イ 参加国 日本 ハンガリー チェコ

ウ 成績	男子ダブルス	優勝:桂拓也・九島一馬 準優勝:松口友也・山口大地
	男子シングルス	優勝:桂拓也 準優勝:松口友也 第3位:山口大地
	女子ダブルス	優勝:小林奈央・小泉友梨恵
	女子シングルス	優勝:小林奈央 準優勝:小泉友梨恵
	ミックスダブルス	優勝:桂・MIKLOSI(ハンガリー) 準優勝:EZSOLY(ハンガリー)・小林奈央 第3位:TREFIL(チェコ)・小泉友梨恵

*ワタキューカップ国際大会

イタリア・ローマ市において、9月13日(木)～15日(土)まで行われた標記大会に、
次の選手団を派遣した。

ア 選手団

スタッフ	安達和紀(女子アンダー14チーム監督) 小野寺剛(男子アンダー20チーム監督)
男子選手	小栗元貴(早稲田大学) 内山睦基(早稲田大学)
女子選手	深澤昭恵(東芝姫路) 宮下愛未(東芝姫路) 三隅はすは(深江中学校) 吉田栞里(昇陽中学校)

イ 参加国

日本 イタリア ポーランド チェコ ハンガリー ルーマニア
アメリカ 韓国

ウ 成績	男子ダブルス	準優勝:小栗元貴・内山睦基
	男子シングルス	優勝:小栗元貴 第3位:内山睦基
	女子ダブルス	優勝:深澤昭恵・宮下愛未
	女子シングルス	準優勝:深澤昭恵
	ジュニアダブルス	優勝:三隅はすは・吉田栞里
	ジュニアシングルス	優勝:吉田栞里 準優勝:三隅はすは

4) 強化スタッフの各種大会視察

・強化スタッフ・強化委員を次のとおり各種大会に派遣した。

大会名	派遣者
アジア選手権大会日本代表予選会	斉藤広宣 中堀成生 田中弘 高川経生 小野寺剛
全日本シングルス選手権大会	中堀成生 田中弘 高川経生 小峯秋二
全日本小学生選手権大会	池田征弘
全日本学生選手権大会	中堀成生
全日本高校選手権大会	岡村勝幸 浅川陽介
全国中学校大会	篠邊保 安達和紀
全日本選手権大会	斉藤広宣 中堀成生 田中弘 高川経生 小野寺剛 中津川澄男 小峯秋二 古賀一人 平山隆久 浅川陽介 安達和紀
都道府県対抗全日本中学生大会	安達和紀

(2) 医科学研究調査

① 医科学スタッフによるサポート及びトレーナーズテントの設営を実施した。

- ・シングルス・混合ダブルスの強化対策を実施した。
- ・陣形に応じた対応策を研究した。
- ・国内大会での撮影及び映像分析、国際大会における戦術分析を行った。

② 各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上に役立てた。

③ 医科学研究結果を機関誌、ホームページにより報告し、指導現場に役立てた。

(3) アンチ・ドーピング

① アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動

- ・(公財)日本アンチ・ドーピング機構と連携して、強化合宿等への講師派遣や大会参加者へ資料配付等ドーピング防止の普及啓発活動を実施して、スポーツの公平性を競技者に理解させ健全な精神の育成を図った。

② 国内大会におけるドーピング検査の実施

- ・アジア選手権大会日本代表選手予選会、全日本シングルス選手権大会、全日本選手権大会、全日本インドア選手権大会で実施した。

2. ソフトテニスの指導者育成

(1) 指導者養成

① 指導者養成事業の推進

- ・指導者養成講習会を次のとおり実施した。

ア 指導員養成講習会専門科目開催事業11会場 実施都道府県

(青森県、福島県、茨城県、富山県、石川県、福井県、愛知県、兵庫県、奈良県、広島県、長崎県)

イ 上級指導員養成講習会専門科目開催事業1会場 実施都道府県

(宮城県)

ウ スポーツ専門学校1会場

(東京スポーツ・レクリエーション専門学校)

- ・指導者養成講習会(各都道府県連盟)を「公認スポーツ指導者養成マニュアル」を活用して積極的に実施し、公認スポーツ指導者の拡大を図り、地域の普及活動を充実させた。
- ・公認スポーツ指導者の活用方法の検討を行った。
- ・中・高等学校指導者育成のための方策を検討した。
- ・「指導教本」、「コーチ教本」、「ジュニア指導教本」の改訂作業を行った。
- ・シングルス練習用マニュアル(DVD版)の活用を図った。

② 全国小学生・中学生・高校生の指導者の合同研修会を実施した。(25年2月2日・3日大阪)

- ・小学生、中学生、高校生へのソフトテニス活動における課題の改善について検討した。
- ・競技者育成プログラムの現状を把握し、さらなる推進に向けて協議を行った。
- ・シングルの競技力向上及び普及促進に関する対策を検討した。
- ・スポーツ活動を通して環境保全ならびに青少年の健全育成を推進した。
- ・スポーツ界における暴力の根絶について指導者としてあるべき姿について議論した。
- ・日本体育協会の「フェアプレイ宣言」推進委員を講師として招き、研修の充実を図った。
- ・スポーツ活動における指導者に相以しい行動について指導徹底した。

③ 指導者バンク(日本連盟)の推進

競技者育成プログラム及び指導者養成推進等のため日本連盟として指導者バンクを整備した。

- ・日本連盟指導者バンク登録指導者の活用

Step-5におけるナショナルチームや全日本アンダーチームの監督、コーチとしての活動。

Step-4における各カテゴリーの指導者としての活動。

Step-3における支部代表指導者または日本連盟指導者としての活動。

④ 指導者バンク(地域)の活用推進

- ・積極的に指導者バンク(地域)を活用して、競技者育成プログラム(Step1, 2)の推進及び中学、高校の指導者不足を解消する等、普及を担う指導者の確保に努力した。
- ・ジュニア層指導者の資格取得を促進した。(指導員・審判・技術等級)

Ⅲ. ソフトテニスの国際振興事業

1. ソフトテニスの国際振興

(1) 国際普及活動の推進

①国際組織 (ISTF, ASTF) 内での指導的立場に基づく国際性の向上を図った。

* カナダ(ケベック)で開催されたスポーツアコードの総会に5月21日から5月27日まで笠井達夫専務理事と丹崎健一国際委員長が参加をし、総会前に開催された各種研修会等を通じてソフトテニスのアピールと他競技団体役員との交流を図った。

②普及対象国への指導者、選手の派遣および普及対象の選手、指導者の日本での研修受入れを図った。

* ドイツ連盟よりジュニア選手の交流および技術向上研修のため、10月4日から10月9日まで北海道(滝川市・札幌市)においてドイツジュニア選手および役員を受け入れた。

受入れ側:北海道滝川市

・引率者 Verena Seliger-Horing Birgit Obendorfer

・選手 Marcel Walther Janis Oberndolfer Maximilian Schoen

Phiripp Gunther Sophie-Louise Sohns Michelle Agartz

10月4日(木) 新千歳空港到着、ホテル移動

10月5日(金) 日本文化体験、滝川開西中学校練習に参加、ウェルカムパーティー

10月6日(土) 滝川市の中学生ソフトテニス交流大会に参加

10月7日(日) 札幌市へ移動

10月8日(月) 札幌市の中学生と交流試合に参加、さよならパーティー

10月9日(火) 新千歳空港より帰国

・ソフトテニス競技の普及拡大、技術向上、国際交流

* ヨーロッパ(ポーランド・ドイツ・イタリア)への普及活動として、7月4日から7月13日まで指導者および選手を派遣した。

古賀俊彦(ワタキューセイモア監督)

今野綾香、北浦有華、片山 冴、比永有巳(ワタキューセイモア)

アンナ・シュヴオンテック(通訳)

・ソフトテニス競技の普及拡大

・各国での技術指導および大会参加

* パラグアイ・イグアス日本人会より指導者派遣の要望があり、平成24年3月28日より1年間指導者を派遣した。

・小倉由衣(元・三重高校非常勤講師)

③用具の提供、流通の促進を図った。

* 用具・用品の支援

・ボール=275打、ラケット=680本、

《送付先》イタリア、インドネシア、オランダ、スイス、ドイツ、ドミニカ、パキスタン、

フィリピン、ポーランド、パラグアイ、中国、モンゴル、マカオ、インド、ネパール、

アルゼンチン、アジア選手権大会時普及国に対しラケット・ボールを支援した。

④普及指導用諸教材の整理及び追加作成を行い、普及活動に活用した。

・紹介用プレゼンテーションDVD、紹介用パンフレットを活用した。

・技術指導DVD(基礎技術、応用技術、練習方法、競技、審判各編)、解説書等を活用した。

・諸規定集(ルールブック、審判DVD等)を活用した。

⑤国際普及親善活動に結びつく支部等の活動に対して、「国際親善大会補助」として助成した。

北海道連、東京都連、福井県連、京都府連、大阪府連、広島県連、山口県連、香川県連、福岡県連、

熊本県連、近畿連盟、日本学連、日本シニア協議会

(2) 国際指導体制、審判体制の充実

①国際指導員制度(ASTF)と国際審判員制度(ASTF)を推進した。

②ISTF,ASTFのアンチ・ドーピング活動推進について以下実施した。

・ISTFホームページにアンチ・ドーピングについての説明を掲載した。

・第7回アジア選手権大会時に中華台北アンチ・ドーピング機構に依頼してアンチ・ドーピングの講習を各国監督に行うとともに、10検体の競技内検査を実施した。

③第7回アジア選手権大会総会時に参加各国へ国際審判員用教育DVDを配布した。

(3) 国際大会の開催促進

* 国際競技大会の参加種目への招致活動及び大会運営を支援した。

①第6回東アジア競技大会(2013年天津)の準備を行った。

②第17回アジア競技大会(2014年仁川)の準備を行った。

③第7回東アジア競技大会(2017年)・第18回アジア競技大会(2018年)への招致活動を行った。

* 8月23日から8月28日まで笠井達夫専務理事と玉木進国際委員がハンガリー国際大会へ参加するとともに、2015年世界選手権大会開催候補地のハンガリー会場視察を行った。

* 9月11日から9月15日まで笠井達夫専務理事と田辺理国際委員がイタリアで開催されたワタキューカップ大会へ参加し、会場視察と本大会の今後の開催地やヨーロッパでのソフトテニス振興についての打合せを行った。

* 2014年、韓国の仁川で開催されることになった第17回アジア競技大会の打合せのため、12月16日から12月18日まで笠井達夫専務理事と丹崎健一国際委員長が韓国を訪問した。

* 第2回世界ジュニア選手権大会開催の候補地としての会場視察のため、平成25年2月28日から3月2日まで笠井達夫専務理事と丹崎健一国際委員長がインドを訪問した。

(4) 国際組織 (ISTF、ASTF) への活動

- ①2012年アジア選手権大会 (中華台北) の運営を支援した。
- ②各国の協力体制、財政基盤の確立、組織運営について検討した。
- ③英語版ウェブサイト (ASTF 及び ISTF) の構築による国際情報発信を推進した。

〔各事業を推進するための組織と財政の強化〕

I. 組織と財政の強化を図った。

1. 組織体制の整備と財政運営

- (1) (別紙「第2 庶務事項 4. 役員・事務局職員に関する事項」に記載の通り、役員の改選を行った。
- (2) 専門委員会については「環境・教育部会」を「広報委員会」から独立させて「環境・教育プロジェクト委員会」とした。「IT部会」についても「広報委員会」から「総務委員会」に移した。
- (3) 「用具施設部会」を「競技委員会」から独立させて「用具施設検討委員会」とした。
- (4) 「等級制度部会」を「指導委員会」より「競技委員会」に移した。
- (5) 「アンチ・ドーピング委員会」を新設した。

2. 会員登録制度の推進

- (1) 会員登録制度は、(公財) 日本ソフトテニス連盟及びその加盟団体における会員組織を確立し、登録会員及びその所属団体を明確にすることにより、普及活動の基盤として役立てるとともに、併せて各組織の健全な財政に寄与するために実施している。
登録会員の一人ひとりがソフトテニス界を支えていく現状を再認識し、会員登録制度の趣旨にそって「競技スポーツとしての一層の向上」「生涯スポーツとしての一層の普及」を図るために活動した。
※ 詳細については、会員登録制度の実施に関する事項を参照。(P49、P58)

(2) 会員報の発行

- ・年2回(8月、2月) 会員報を発行して、会員登録料の使途及び日本連盟の情報を会員に周知した。

(3) 登録状況の把握と改善

- ・支部別及び階層別の団体数と会員数等を把握した。
- ・会員登録有料化からの階層別会員登録推移の検証・分析を実施した。

3. 記念事業準備

- ・2014年の日本ソフトテニス連盟創立90周年記念事業(1924年創立)の準備を行った。

第 2 庶務事項

1. 評議員会に関する事項

(1) 定時評議員会

ア 期 日 平成24年6月17日(日)11時 開会

イ 会 場 ホテルサンルート有明 2階会議室「花明」

ウ 決議事項

- ① 平成23年度事業報告書(案)について
- ② 平成23年度決算報告書(案)について
- ③ 役員選出内規の改訂について
- ④ 役員改選について

(2) 書面審議による評議員会

ア 期 日 平成24年6月26日(火)

イ 会 場 書面審議

ウ 決議事項

- ① 公益財団法人日本ソフトテニス連盟評議員の選任について

(3) 書面審議による評議員会

ア 期 日 平成24年11月17日(土)

イ 会 場 書面審議

ウ 決議事項

- ① 平成24年度第1次補正予算について

(4) 臨時評議員会

ア 期 日 平成24年12月2日(日)午前9時30分 開会

イ 会 場 東京グリーンパレス「ばらの間」

ウ 決議事項

- ① 定款変更(案)について
- ② 大会実施要項の一部改訂(案)について
- ③ 技術等級制度規程の一部改訂(案)について
- ④ 平成25年度事業計画(案)について
- ⑤ 平成25年度当初予算(案)について
- ⑥ 平成25年ナショナルチームおよび全日本アンダーチームの選手について
- ⑦ 平成25年度評議員会日程(案)について

2. 理事会に関する事項

(1) 第1回理事会

ア 期 日 平成24年4月8日(日) 午前11時 開会

イ 会 場 東京体育館「第2会議室」

ウ 議決事項

- ① 公益財団法人の認定について
- ② 強化スタッフの変更、強化選手の追加推薦について
- ③ 国民体育大会へのシングルの導入について
- ④ 用具・用品の公認申請について

エ 審議事項

- ① 平成24年度評議員会・理事会日程について
- ② 公認基準及び製品公認等開催について

(2) 第2回理事会

ア 期 日 平成24年6月3日(日)午前11時 開会

イ 会 場 全日本中学校長会館 4階会議室

ウ 議決事項

- ① 平成23年度事業報告書(案)について
- ② 平成23年度決算報告書(案)について
- ③ 役員選出内規の改訂について
- ④ 役員改選について

エ 審議事項

- ① 国民体育大会功労者表彰対象者の推薦について
- ② 平成24年度(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦について

(3) 第3回理事会

ア 期 日 平成24年6月17日(日)午後2時45分 開会

イ 会 場 ホテルサンルート有明 2階会議室

ウ 議決事項

- ① 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について
- ② 用具・用品の公認申請について

(4)第4回理事会

ア 期 日 平成24年6月27日(水)午後1時 開会

イ 会 場 岸記念体育会館 504会議室

ウ 議決事項

- ① 平成24・25年度業務執行理事の分掌(担当事項)について
- ② 専門委員会規程の改訂について
- ③ 専門委員会編成について
- ④ 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致に向けた支援決議について
- ⑤ 用具・用品の公認申請について

(5)第5回理事会

ア 期 日 平成24年10月8日(月・祝) 正午 開会

イ 会 場 岸記念体育会館 「101会議室」

ウ 議決事項

- ① 平成24年度第1次補正予算について
- ② 専門委員会構成について
- ③ 用具・用品の公認申請について

(6)第6回理事会

ア 期 日 平成24年11月10日(土) 午前11時 開会

イ 会 場 公益財団法人日本ソフトテニス連盟事務所 会議室

ウ 議決事項

- ① 定款変更(案)について
- ② 平成25年度大会要項について
- ③ 技術等級制度の改訂について
- ④ 平成25年度事業計画(案)について
- ⑤ 平成25年度当初予算(案)について
- ⑥ 用具・用品の公認申請について

エ 審議事項

- ① 90周年記念事業の準備について
- ② 平成24年度本部功労者、支部功労者、優良団体、国際大会入賞者表彰、
ジュニア指導者特別表彰および第61回日本スポーツ賞(案)について

(7)第7回理事会

ア 期 日 平成24年12月1日(土)午前11時 開会

イ 会 場 東京グリーンパレス「ばらの間」

ウ 議決事項

- ① 平成24年度臨時評議員会提案の確認について
 - ・ 定款変更(案)について
 - ・ 大会実施要項の一部改訂(案)について
 - ・ 技術等級制度規程の一部改訂(案)について
 - ・ 平成25年度事業計画(案)について
 - ・ 平成25年度当初予算(案)について
 - ・ 平成25年ナショナルチームおよび全日本アンダーの選手について
 - ・ 平成25年度評議員会日程(案)について

(8)第8回理事会

ア 期 日 平成24年12月2日(日)

イ 会 場 東京グリーンパレス「らんの間」

ウ 議決事項 ① 事務所移転に伴う住所並びに移転日の承認について

(9)第9回理事会

ア 期 日 平成25年3月16日(土) 正午 開会

イ 会 場 公益財団法人日本ソフトテニス連盟事務所 会議室

ウ 議決事項

- ① 用具・用品の公認申請について
- ② 砂入り人工芝製造業者の新規参入について

エ 審議事項

- ① スポーツの場における体罰やパワー・ハラスメント等の防止について

3. 理事・監事選考委員会に関する事項

ア 期 日 平成24年6月9日(土)午後2時 開会

イ 会 場 全日本中学校長会館 3階「301会議室」

ウ 議 題

- ① 学識経験理事、地区等選出理事及び監事の選考について

4. 専門委員会等に関する事項

(1) 各専門委員会等諸会議が、次のとおり開催された。

月	日	専門委員会(部会)名	会 場
4	12	機関誌編集部会	岸記念体育会館
	13	プログラム編成部会	東京都連盟事務局
	21	プログラム編成部会	東京都連盟事務局
5	5	強化委員会	韮テニスセンター
	13	業務執行理事会議	岸記念体育会館
	10	機関誌編集部会	岸記念体育会館
6	6	広報委員会	岸記念体育会館
	21	機関誌編集部会	岸記念体育会館
	23	プログラム編成部会	東京都連盟事務局
7	7	指導委員会	京都テルサ
	11	機関誌編集部会	岸記念体育会館
	21	プログラム編成部会	東京都連盟事務局
	28	強化委員会	世田谷区立総合運動場
8	9	機関誌編集部会	岸記念体育会館
	13・14	プログラム編成部会	岸記念体育会館
	16	指導委員会	岸記念体育会館
	29	プログラム編成部会	有明テニスの森公園
9	2	業務執行理事会議	新潟市庭球場
	5	機関誌編集部会	岸記念体育会館
	21	総務委員会	岸記念体育会館
	22	プログラム編成部会	東京都連盟事務局
10	2	業務執行理事会議	瑞浪市民テニスコート
	6	プログラム編成部会	白子町サニーテニスコート
	9	IT部会	岸記念体育会館
	12	等級制度部会	岸記念体育会館
	14	審判委員会	岸記念体育会館
	15	競技委員会	岸記念体育会館
	17	機関誌編集部会	岸記念体育会館
	27	業務執行理事会議	鹿児島市営東開庭球場
27	強化委員会	鹿児島市営東開庭球場	

11	3	環境・教育プロジェクト	日本連盟事務局会議室
	3	生涯スポーツ委員会	アワーズイン阪急
	9	プログラム編成部会	日本連盟事務局会議室
	9	機関誌編集部会	日本連盟事務局会議室
	12	IT部会	日本連盟事務局会議室
12	3	IT部会	日本連盟事務局会議室
	7	機関誌編集部会	日本連盟事務局会議室
	23	会員登録制度部会	日本連盟事務局会議室
	25	競技委員会	日本連盟事務局会議室
1	11	機関誌編集部会	日本連盟事務局会議室
	21	IT部会	日本連盟事務局会議室
	22	アンチ・ドーピング委員会	ナショナルトレーニングセンター
	27	医科学部会	日本連盟事務局会議室
2	3	強化スタッフ会議	大阪アカデミア
	3	環境・教育プロジェクト	大阪アカデミア
	8	機関誌編集部会	日本連盟事務局会議室
	16	プログラム編成部会	日本連盟事務局会議室
	19	審判委員会	日本連盟事務局会議室
	24	指導委員会	大阪市中央体育館
	24	マネージメント部会	大阪市中央体育館
3	12	業務執行理事会議	日本連盟事務局会議室
	13	機関誌編集部会	日本連盟事務局会議室
	16	強化委員会	日本連盟事務局会議室
	16	倫理委員会	日本連盟事務局会議室
	17	指導委員会	日本連盟事務局会議室

(2) 監査等が、次のとおり実施された。

月	日	事業内容	会 場
5	11	公認会計士による指導	岸記念体育会館(事務局)
5	13・14	監事による監査	岸記念体育会館(事務局)
1	23	公認会計士による中間監査	日本連盟事務局会議室

5. 役員・事務局職員に関する事項

(1) 平成24年度（4月1日～6月定時評議員会まで） 名誉会長・理事21名

役 職	氏 名			役 職	氏 名	選出母体
名誉会長	海部俊樹					
役 職	氏 名	選出母体	役 職	氏 名	選出母体	
会 長	林 敏弘	学識経験者	理 事	吉田博紀	九州	
副会長	表 孟宏			藤原伸二	会長推薦	
副会長	西村信寛			宮下恭子		
専務理事	笠井達夫	会長推薦	柳下秋久			
理 事	本田茂雄	北海道・東北	丹崎健一			
	星野 博	関 東	笛岡宣明			
	和歌浦信雄	北信越	神崎公宏			
	斉藤元三	東 海	津田 誠			
	山本 毅	近 畿	野際照章			
	欠 員	中 国	北本英幸			
	安藤正美	四 国	田中正男			

(2) 平成24年度（4月1日～6月定時評議員会まで） 監 事 3名

氏 名	支 部	氏 名	支 部	氏 名	支 部
北村和久	三重	阿部宗一	大阪	萬 正一	秋田

(3) 平成24年度（4月1日～平成28年6月定時評議員会まで） 評議員 50名

運上琢諭(北海道)	新保俊彦(青森)	宮田 勤(岩手)
松田孝志(宮城)	加藤育広(秋田)	山田耕司(山形)
川島 登(福島)	額賀富雄(茨城)	田村哲二(栃木)
鈴木正彦(群馬)	山下晴海(埼玉)	石川雅利(千葉)
山崎隆一(東京)	笠井一栄(神奈川)	千野一也(山梨)
藤崎俊郎(新潟)	堀内 昭(長野)	高辻則夫(富山)
井上清一(石川)	川畑 茂(福井)	落合敏男(静岡)
篠邊 保(愛知)	天野晴夫(三重)	木村芳雄(岐阜)
金井 豊(滋賀)	増木博一(京都)	相賀 勝(大阪)
森田賢二(兵庫)	川西 斎(奈良)	花田一弥(和歌山)
安東健司(鳥取)	森脇孝吉(島根)	重平静洋(岡山)
木原晴彦(広島)	秋枝正文(山口)	岸本正文(徳島)
木下恵司(香川)	越智 朗(愛媛)	横江忠志(高知)
湯田純孝(福岡)	森 通紘(佐賀)	馬場信幸(長崎)
岩下敏和(熊本)	白水厚二(大分)	寺園圀順(宮崎)
川畑 城(鹿児島)	仲間正弘(沖縄)	富永 陽(日学連)
松谷 茂(高体連)	内田 斎(中体連)	

(4) 平成24年度 専門委員会 (4月1日～6月定時評議員会まで)

総務委員会	委員長	和歌浦 信雄(新潟)			
	委員	柳下 秋久(東京)	斉藤 元三(愛知)	丹崎 健一(東京)	井上 清一(石川)
		田中正 男(事務局)	津田 誠(愛知)		
会員登録制度部会	部会長	和歌浦 信雄(新潟)			
	委員	川島 登(福島)	内田 斎(中体連)	今井 史郎(東京)	北 正三(埼玉)
		大西 正明(高体連)	三好 和人(日学連)	宮下 恭子(大阪)	本田 茂雄(宮城)

審判委員会	委員長	藤原 伸二(千葉)			
	委員	小原 信幸(岡山)	柳下 秋久(東京)	北村 和久(三重)	斉藤 元三(愛知)
		今井 史郎(東京)	笛岡 宣明(愛知)	石川 雅利(千葉)	林田 正信(熊本)
		荒木 稜夫(東京)	田中 敏雄(広島)	蒲原 英敏(広島)	荒畑 鈴佳(岐阜)
		上山 親子(大阪)	牧 壮一(愛知)	田村 忠士(広島)	君塚 亮一(神奈川)

競技委員会	委員長	斉藤 元三(愛知)			
	委員	藤原 伸二(千葉)	宮下 恭子(大阪)	安藤 正美(香川)	笛岡 宣明(愛知)
		星野 博(東京)	長岡 敏久(埼玉)		
プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)			
	委員	星野 博(東京)	宮下 恭子(大阪)	佐藤 健司(東京)	木谷 順三(千葉)
		小笠原 浩二(東京)	中野 吉広(東京)	山口 眞護(東京)	小俣 三男(埼玉)
		木所 一典(栃木)	大川 京子(千葉)	高川 恵美子(東京)	藤原 芳子(東京)
		君塚 亮一(神奈川)	織原 真由美(東京)	増山 良夫(東京)	
用具施設部会	部会長	斉藤 元三(愛知)			
	委員	柳下 秋久(東京)	笛岡 宣明(愛知)	星野 博(東京)	田中正 男(事務局)

強化委員会	委員長	神崎 公宏(三重)			
	委員	野際 照章(京都)	北本 英幸(石川)	斉藤 広宣(千葉)	田中 弘(東京)
		若梅 明彦(千葉)	中堀 成生(広島)	上松 明裕(岡山)	石井 源信(東京)
医科学部会	部会長	石井 源信(東京)			
	委員	永井 博典(東京)	山本 裕二(愛知)	工藤 敏巳(宮城)	出家 正隆(広島)
		藤島 淑子(東京)	楠堀 誠司(広島)	井田 博史(東京)	川上 晃司(兵庫)
		守重 昌彦(東京)	見附 祥子(広島)	川野 因(神奈川)	永野 康治(新潟)
		山田 隆(東京)	村上 孝之(石川)	福原 和伸(東京)	

指 導 委 員 会	委員長	野 際 照 章(京都)			
	委 員	神 崎 公 宏(三重)	小野寺 剛(東京)	北 本 英 幸(石川)	榎 並 紳 吉(東京)
		井 田 博 史(東京)	安 達 和 紀(鳥取)	篠 邊 保(愛知)	小 西 俊 博(香川)
		武 田 博 子(広島)			
等 級 制 度 部 会	部会長	今 井 史 郎(東京)			
	委 員	荒 木 稜 夫(東京)	安 達 和 紀(鳥取)	篠 邊 保(愛知)	吉 田 茂(福島)
		大 中 和 彦(神奈川)			

生 涯 ス ポ ー ツ 委 員 会	委員長	本 田 茂 雄(宮城)				
	委 員	吉 田 博 紀(熊本)	宮 下 恭 子(大阪)	佐 藤 正 矩(北海道)	山 本 毅(京都)	
		内 田 齋(中体連)	北 山 敏 隆(日学連)	間 中 和 男(中体連)	野 際 照 章(京都)	
		間 宮 栄 二(栃木)	木 下 道 夫(高体連)	三 好 和 人(日学連)	大 川 京 子(千葉)	
		部会長 本 田 茂 雄(宮城)				
	小 学 生 部 会	委 員	松 口 康 彦(神奈川)	芝 地 康 幸(兵庫)	金 岡 昭 房(宮城)	國 枝 俊 子(岐阜)
			川 並 久 美 子(和歌山)	中 村 正 広(福岡)	石 川 雅 利(千葉)	
	シ ニ ア 部 会	部会長	宮 下 恭 子(大阪)			
		委 員	山 本 毅(京都)	大 西 貞 夫(大阪)	時 任 宥 幸(東京)	保 倉 謙 治(埼玉)
			山 村 嘉 一(千葉)	原 田 公 夫(鳥取)	田 中 敏 彦(山梨)	横 野 久 美 子(愛知)
大 川 京 子(千葉)			吉 田 博 紀(熊本)			

国 際 委 員 会	委員長	丹 崎 健 一(東京)			
	委 員	内 藤 享 佑(東京)	橋 本 茂 樹(東京)	長 岡 敏 久(埼玉)	山 口 正 紀(東京)
		福 崎 穰 司(広島)	蒲 原 英 敏(広島)	小 野 政 昭(広島)	佐 伯 善 春(佐賀)
		玉 木 進(東京)	野 口 英 一(東京)	古 賀 俊 彦(京都)	松 井 愛 美(神奈川)
		関 川 丈 彦(新潟)			

広 報 委 員 会	委員長	柳 下 秋 久(東京)				
	委 員	中 山 俊 介(東京)	萩 原 廣 一(日連)	大 高 宏 元(日連)	小野寺 剛(東京)	
		石 川 雅 利(千葉)	北 正 三(埼玉)	近 藤 貴 予(東京)	大 野 勝 敏(東京)	
	機 関 誌 編 集 部 会	部会長	田 中 正 男(事務局)			
		委 員	石 川 雅 利(千葉)	田 中 美 明(埼玉)	鈴 木 学(埼玉)	近 藤 貴 予(東京)
	I T 部 会	部会長	北 正 三(埼玉)			
		委 員	天 野 晴 夫(三重)	大 野 勝 敏(東京)	土 崎 朋 典(東京)	内 原 繁(埼玉)
	環 境 ・ 教 育 部 会	部会長	柳 下 秋 久(東京)			
		委 員	斉 藤 元 三(愛知)	神 崎 公 宏(三重)	宮 下 恭 子(大阪)	松 谷 茂(東京)
	内 田 齋(中体連)		野 際 照 章(京都)	本 田 茂 雄(宮城)	安 藤 正 美(香川)	

競技者資格委員会	委員長	笠井 達夫(神奈川県)			
	委員	和歌浦 信雄(新潟)	藤原 伸二(千葉)	柳下 秋久(東京)	宮下 恭子(大阪)
		斉藤 元三(愛知)	田中正男(事務局)	松谷 茂(高体連)	内田 斎(中体連)

倫理委員会	委員長	林 敏弘(東京)			
	副委員長	笠井 達夫(神奈川県)			
	委員	表 孟宏(兵庫)	西村 信寛(東京)	和歌浦 信雄(新潟)	藤原 伸二(千葉)
宮下 恭子(大阪)		柳下 秋久(東京)	斉藤 元三(愛知)	田中正男(事務局)	

競技者育成プログラム推進委員会	委員長	笠井 達夫(神奈川県)				
	委員	武 鐘 守(広島)	北山 敏隆(日学連)	松谷 茂(高体連)	内田 斎(中体連)	
		本田 茂雄(宮城)	神崎 公宏(三重)	野際 照章(京都)	北本 英幸(石川)	
		井上 創(兵庫)				
	競技者育成部会	部会長	神崎 公宏(三重)			
		委員	斉藤 広宣(千葉)	田中 弘(東京)	小野寺 剛(東京)	小峯 秋二(富山)
			古賀 一人(佐賀)	岡村 勝幸(山梨)	篠邊 保(愛知)	安達 和紀(鳥取)
	指導者育成部会	部会長	野際 照章(京都)			
		委員	神崎 公宏(三重)	北本 英幸(石川)	斉藤 広宣(千葉)	田中 弘(東京)
			川並久美子(和歌山)	伊東 健(岩手)		
	マネジメント部会	部会長	井上 創(兵庫)			
		委員	重平 静洋(岡山)	天野 晴夫(三重)	藤崎 俊郎(新潟)	山崎 正泰(宮城)
増田 大吾(神奈川県)			溝渕 俊二(和歌山)	西木 宏(徳島)	岩下 敏和(熊本)	

国際振興検討プロジェクト	委員長	笠井 達夫(神奈川県)			
	委員	丹崎 健一(東京)	山口 正紀(東京)	橋本 貞夫(福島)	田辺 理(東京)
		玉木 進(東京)	佐々木 寿(北海道)	古賀 俊彦(京都)	

中学・高校部活動部員増加対策プロジェクト	委員長	津田 誠(愛知)			
	委員	木下 道夫(高体連)	内田 斎(中体連)	間中 和男(中体連)	石川 雅利(千葉)
		渡辺 武夫(東京)			

公益法人認定プロジェクト	委員長	笠井 達夫(神奈川県)			
	委員	鈴木孝雄(顧問弁護士)	櫻井資悦(公認会計士)	松尾 洋二(税理士)	柳下 秋久(東京)
		田中正男(事務局)			

(5) 平成24年度 顧問・参与・事務局職員

《顧問》

中屋 卯三郎	倉田 裕司	松田 謙治	齋藤 孝弘	奥田 忠雄
内田 昌一	小原 信幸	三田 清一		

《参与》

重田 衛	長瀬 二郎	水野 明人	米山 勉	酒井 薫
高松 政男	松田 信穂	林 幸夫	中山 昌作	内藤 享佑
伊野 二彦	和田 祥司	吉田 敏彦	西田 豊明	

〈事務局職員〉

事務局長	田中正男 平成21年4月1日～	職員	西村 眞澄	平成13年11月1日～
			竹田 稔	平成10年4月1日～
			荒木 朋子	平成3年4月1日～
			大八木 洋子	平成13年4月1日～

- ※ 顧問弁護士 鈴木 孝雄氏
- ※ 公認会計士 櫻井 資悦氏
- ※ 税理士 松尾 洋二氏

(6) 平成24年度（6月定時評議員会～26年6月定時評議員会まで）

名誉会長・名誉副会長・理事22名

役職	氏名		役職	氏名	選出母体
名誉会長	海部俊樹				
名誉副会長	林敏弘				
役職	氏名	選出母体	役職	氏名	選出母体
会長	表孟宏	学識経験者	理事	木原晴彦	中国
副会長	西村信寛			安藤正美	四国
副会長	小原信幸			吉田博紀	九州
専務理事	笠井達夫	会長推薦		松谷茂	会長推薦
常務理事	和歌浦信雄	北信越		内田斎	
	柳下秋久	会長推薦		丹崎健一	
	田中正男			神崎公宏	
理事	川島登	北海道・東北		北本英幸	
	星野博	関東		野際照章	
	斉藤元三	東海		大川京子	
	山本毅	近畿	井上清一		

(7) 平成24年度（6月定時評議員会～26年6月定時評議員会まで） 監事 3名

氏名	支部	氏名	支部	氏名	支部
北村和久	三重	阿部宗一	大阪	鈴木正彦	群馬

(8) 平成24年度（6月定時評議員会～26年6月定時評議員会まで） 評議員 50名

運上琢論(北海道)	新保俊彦(青森)	宮田勤(岩手)
松田孝志(宮城)	加藤育広(秋田)	山田耕司(山形)
小野間幸一(福島)	額賀富雄(茨城)	田村哲二(栃木)
佐藤栄一(群馬)	山下晴海(埼玉)	石川雅利(千葉)
山崎隆一(東京)	笠井一栄(神奈川)	千野一也(山梨)
藤崎俊郎(新潟)	堀内昭(長野)	高辻則夫(富山)
眞島仁志(石川)	川畑茂(福井)	落合敏男(静岡)
篠邊保(愛知)	天野晴夫(三重)	木村芳雄(岐阜)
金井豊(滋賀)	増木博一(京都)	相賀勝(大阪)
森田賢二(兵庫)	川西斎(奈良)	花田一弥(和歌山)
安東健司(鳥取)	森脇孝吉(島根)	重平静洋(岡山)
大前秀樹(広島)	秋枝正文(山口)	岸本正文(徳島)
木下恵司(香川)	越智朗(愛媛)	横江忠志(高知)
湯田純孝(福岡)	森通紘(佐賀)	馬場信幸(長崎)
岩下敏和(熊本)	白水厚二(大分)	寺園圀順(宮崎)
川畑城(鹿児島)	仲間正弘(沖縄)	富永陽(日学連)
木下道夫(高体連)	平野富靖(中体連)	

(9) 平成24年度（6月定時評議員会～26年6月定時評議員会まで） 専門委員会

総務委員会	委員長	和歌浦 信雄(新潟)	副委員長 田中正 男(事務局)		
	委員	柳下 秋久(東京)	吉田 博紀(熊本)	井上 清一(石川)	川島 登(福島)
		丹崎 健一(東京)	山下 晴海(埼玉)	北 正三(埼玉)	
会員登録制度部会	部会長	和歌浦 信雄(新潟)			
	委員	川島 登(福島)	吉田 博紀(熊本)	内田 斎(中体連)	今井 史郎(東京)
		北 正三(埼玉)	大西 正明(高体連)	富永 陽(日学連)	運上 琢論(北海道)
IT部会	部会長	北 正三(埼玉)			
	委員	天野 晴夫(三重)	大野 勝敏(東京)	増山 良夫(東京)	

審判委員会	委員長	柳下 秋久(東京)	副委員長 今井 史郎(東京)		
	委員	斉藤 元三(愛知)	木原 晴彦(広島)	北村 和久(三重)	笛岡 宣明(愛知)
		林田 正信(熊本)	石川 雅利(千葉)	蒲原 英敏(広島)	田中 敏雄(広島)
		牧 壮一(愛知)	田村 忠士(広島)	君塚 亮一(神奈川)	荒畑 鈴佳(岐阜)
		上山 親子(大阪)	木下 道夫(高体連)		

競技委員会	委員長	斉藤 元三(愛知)	副委員長 星野 博(東京)		
	委員	柳下 秋久(東京)	安藤 正美(香川)	長岡 敏久(埼玉)	今井 史郎(東京)
		井上 光子(千葉)			
プログラム編成部会	部会長	長岡 敏久(埼玉)			
	委員	星野 博(東京)	増山 良夫(東京)	佐藤 健司(東京)	木谷 順三(千葉)
		小笠原 浩二(東京)	中野 吉広(東京)	山口 眞護(東京)	小俣 三男(埼玉)
		木所 一典(栃木)	高川 恵美子(東京)	藤原 芳子(東京)	織原 真由美(東京)
		井上 光子(千葉)	成島 厚子(東京)		
等級制度部会	部会長	今井 史郎(東京)			
	委員	荒木 稜夫(東京)	安達 和紀(鳥取)	篠邊 保(愛知)	吉田 茂(福島)
		大中和彦(神奈川)			

強化委員会	委員長	神崎 公宏(三重)	副委員長 北本 英幸(石川)		
	委員	野際 照章(京都)	石井 源信(東京)	斉藤 広宣(千葉)	田中 弘(東京)
		中堀 成生(広島)	高川 経生(東京)		
医科学部会	部会長	石井 源信(東京)			
	委員	永井 博典(東京)	山本 裕二(愛知)	水野 哲也(千葉)	工藤 敏巳(宮城)
		出家 正隆(広島)	藤島 淑子(東京)	楠堀 誠司(広島)	井田 博史(東京)
		川上 晃司(兵庫)	守重 昌彦(東京)	見附 祥子(広島)	川野 因(神奈川)
		永野 康治(新潟)	村山 孝之(石川)	福原 和伸(東京)	山田 隆(東京)

指 導 委 員 会	委員長	野 際 照 章(京都)	副委員長 神 崎 公 宏(三重)		
	委 員	北 本 英 幸(石川)	小野寺 剛(東京)	榎 並 紳 吉(東京)	安 達 和 紀(鳥取)
		篠 邊 保(愛知)	井 田 博 史(東京)	小 西 俊 博(香川)	武 田 博 子(広島)
		松 口 康 彦(神奈川)			

生涯スポーツ委員会	委員長	大 川 京 子(千葉)	副委員長 山 本 毅(京都)		
	委 員	吉 田 博 紀(熊本)	本 田 茂 雄 (宮城)	金 岡 昭 房(宮城)	木 下 道 夫(高体連)
		内 田 斎(中体連)			
小学生部会	部会長	金 岡 昭 房(宮城)			
	委 員	石 川 雅 利(千葉)	松 口 康 彦(神奈川)	芝 地 康 幸(兵庫)	廣 島 義 清(北海道)
		國 枝 俊 子(岐阜)	川 並 久 美 子(和歌山)	中 村 正 広(福岡)	小 西 俊 博(香川)
		畠 山 洋 二(広島)			
シニア部会	部会長	本 田 茂 雄 (宮城)			
	委 員	山 本 毅(京都)	吉 田 博 紀(熊本)	時 任 宥 幸(東京)	保 倉 謙 治(埼玉)
		山 村 嘉 一(千葉)	原 田 公 夫(鳥取)	横 野 久 美 子(愛知)	

国 際 委 員 会	委員長	丹 崎 健 一(東京)	副委員長 玉 木 進(事務局)		
	委 員	木 原 晴 彦(広島)	山 口 正 紀(広島)	福 崎 穰 司(広島)	蒲 原 英 敏(広島)
		古 賀 俊 彦(京都)	松 井 愛 美(神奈川)	関 川 丈 彦(新潟)	

広 報 委 員 会	委員長	田 中 正 男(事務局)	副委員長 柳 下 秋 久(東京)		
	委 員	安 藤 正 美(香川)	中 山 俊 介(東京)	萩 原 廣 一(神奈川)	石 川 雅 利(千葉)
		北 正 三(埼玉)	大 野 勝 敏(埼玉)	井 上 光 子(千葉)	
機関誌編集部会	部会長	田 中 正 男(事務局)			
	委 員	石 川 雅 利(千葉)	鈴 木 学(埼玉)	近 藤 貴 予(東京)	井 上 光 子(千葉)

アンチドーピング 委員会	委員長	北 本 英 幸(石川)	副委員長 玉 木 進(事務局)		
	委 員	丹 崎 健 一(東京)	永 井 博 典(東京)	藤 島 淑 子(東京)	川 上 晃 司(兵庫)
		見 附 祥 子(広島)	上 遠 野 久 美(福島)		

《特別委員会》

競技者資格委員会	委員長	表 孟 宏(兵庫)	副委員長 笠 井 達 夫(神奈川)		
	委 員	西 村 信 寛(東京)	小 原 信 幸(岡山)	和歌浦 信雄(新潟)	柳 下 秋 久(東京)
		斉 藤 元 三(愛知)	大 川 京 子(千葉)	田 中 正 男(事務局)	松 谷 茂(高体連)
		内 田 斎(中体連)			

倫 理 委 員 会	委員長	表 孟 宏(兵庫)	副委員長 笠 井 達 夫(神奈川)		
	委 員	西 村 信 寛(東京)	小 原 信 幸(岡山)	和歌浦 信雄(新潟)	柳 下 秋 久(東京)
		斉 藤 元 三(愛知)	田 中 正 男(事務局)		

競技者育成プログラム 推進委員会	委員長	笠 井 達 夫(神奈川)	副委員長 神 崎 公 宏(三重)		
	委 員	北 本 英 幸(石川)	吉 田 博 紀(熊本)	木 原 晴 彦(広島)	松 谷 茂(高体連)
		内 田 斎(中体連)	本 田 茂 雄(宮城)	野 際 照 章(京都)	井 上 創(兵庫)
丹 崎 健 一(東京)		林 研 一(日学連)			
競技者育成部会	部会長	神 崎 公 宏(三重)			
	委 員	斉 藤 広 宣(千葉)	田 中 弘(東京)	小野寺 剛(東京)	小 峯 秋 二(富山)
		古 賀 一 人(佐賀)	岡 村 勝 幸(山梨)	篠 邊 保(愛知)	安 達 和 紀(鳥取)
指導者育成部会	部会長	野 際 照 章(京都)			
	委 員	神 崎 公 宏(三重)	北 本 英 幸(石川)	斉 藤 広 宣(千葉)	田 中 弘(東京)
		川並久美子(和歌山)	伊 東 健(岩手)		
マネジメント部会	部会長	井 上 創(兵庫)			
	委 員	重 平 静 洋(岡山)	天 野 晴 夫(三重)	藤 崎 俊 郎(新潟)	増 田 大 吾(神奈川)
		溝 渕 俊 二(和歌山)	西 木 宏(徳島)	岩 下 敏 和(熊本)	千 葉 英 明(宮城)

用具施設検討委員会	委員長	田 中 正 男(事務局)	副委員長 齊 藤 元 三(愛知)		
	委 員	柳 下 秋 久(東京)	星 野 博(東京)	玉 木 進(事務局)	

国際振興プロジェクト	委員長	笠 井 達 夫(神奈川)	副委員長 丹 崎 健 一(東京)		
	委 員	山 口 正 紀(広島)	橋 本 貞 夫(福島)	田 辺 理(東京)	玉 木 進(事務局)
		佐々木 寿(北海道)	古 賀 俊 彦(京都)		

環 境・教 育 プロジェクト	委員長	井 上 清 一(石川)	副委員長 柳 下 秋 久(東京)		
	委 員	斉 藤 元 三(愛知)	神 崎 公 宏(三重)	大 川 京 子(千葉)	川 島 登(福島)
		安 藤 正 美(香川)	松 谷 茂(東京)	内 田 斎(中体連)	野 際 照 章(京都)
		本 田 茂 雄(宮城)	金 岡 昭 房(宮城)	林 研 一(日学連)	
公益法人認定 プロジェクト	委員長	笠 井 達 夫(神奈川)			
	委 員	鈴木孝雄(顧問弁護士)	櫻井資悦(公認会計士)	松 尾 洋 二(税理士)	柳 下 秋 久(東京)
		田 中 正 男(事務局)			

(10) 平成24年度(6月定時評議員会～26年6月定時評議員会まで)

顧問・参与・事務局職員

《顧問》

中屋 卯三郎	倉田 裕司	松田 謙治	斎藤 孝弘	奥田 忠雄
内田 昌一	三田 清一			

《参与》

重田 衛	長瀬 二郎	水野 明人	米山 勉	酒井 薫
高松 政男	松田 信穂	林 幸夫	中山 昌作	内藤 享佑
伊野 二彦	和田 祥司	吉田 敏彦	西田 豊明	本田 茂雄
宮下 恭子	藤原 伸二			

〈事務局職員〉

事務局長	田中 正男	職 員	西村 眞澄	平成13年11月1日～
	平成21年4月1日～		竹田 稔	平成10年4月1日～
事務局次長	玉木 進		荒木 朋子	平成3年4月1日～
	平成24年7月1日～		大八木 洋子	平成13年4月1日～

- ※ 顧問弁護士 鈴木 孝雄氏
- ※ 公認会計士 櫻井 資悦氏
- ※ 税理士 松尾 洋二氏

6. 会員登録制度の実施に関する事項

平成11年度に制定した会員登録制度も13年を経過した。IT化により実務の効率化と迅速化を図り、平成17年度から小・中学生も有料化、平成20年度からは会員登録料納付の導入を図ることにより本制度は定着した。そして、各支部を中心とした多くの関係者のご努力とご協力により順調に会員登録が増加して、財政基盤も強固なものとなっている。

(1) 年度別会員登録人数

(数値：人数)

種別	指導者	一般	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	合計
平成24年度	8,751	49,279	17,174	284,478	82,510	1,005	7,800	450,997
平成23年度	7,771	50,221	17,298	284,886	81,730	918	8,076	450,900
平成22年度	6,885	51,525	18,083	285,617	83,555	950	8,492	455,107
平成21年度	5,482	51,214	17,986	291,640	85,841	846	8,499	461,508
平成20年度	3,291	51,436	17,408	279,203	87,243	810	8,288	447,679
平成19年度	0	54,239	17,415	269,939	91,165	385	7,543	440,686
平成18年度	0	53,787	17,742	240,872	93,199	373	7,567	413,540

(注) 都道府県別会員数は別表4(P58)に掲載。平成20年度より指導者区分を設置。

7. 分担金に関する事項

(1) 支部分担金

一律 150,000円 × 50支部 7,500,000円

(2) 会員登録料

(単位：円)

種別	指導者	小学生	中学生	高校生	高専	大学生	一般	合計
平成24年度	8,751,000	8,587,000	142,239,000	41,255,000	502,500	3,900,000	49,279,000	254,513,500
平成23年度	7,771,000	8,649,000	142,443,000	40,865,000	459,000	4,038,000	50,221,000	254,446,000

(3) 維持会費

ア. 公認メーカー

23社：延べ45社（前年度46社）

(単位：円)

用具・用品	金額	公 認 メ ー カ ー
ラケット 9社	900,000	カワサキ・ミズノ・ヨネックス・ゴーセン・ヒロウン ダンロップスポーツ・グローブライド・ティエムシー・ジャパーナ
ボール 2社	5,520,000	昭和ホールディングス・ナガセケンコー
ネット 8社	800,000	鐘屋産業・アシックス・寺西喜商店・ミセキネット・ 昭和ホールディングス・高須賀・ティエヌネット・鶴沢ネット
ストリング 6社	3,960,000	ゴーセン・東亜ストリング・ヨネックス・ダンロップスポーツ・ ミズノ・グローブライド
ユニフォーム 11社	12,760,000	カワサキ・ミズノ・昭和ホールディングス・ヨネックス・ゴーセン アシックス・ゴールドウイン・ナイキジャパン・ダンロップスポーツ・ アディダスジャパン・グローブライド
シューズ 9社	4,320,000	アシックス・ヨネックス・ナイキジャパン・アディダスジャパン ダンロップスポーツ・ミズノ・グローブライド・プリヂストンスポーツ・ ゴールドウイン
計	28,260,000	

イ. 施設業者

6社：延べ7社（前年度7社）

(単位：円)

施設・製造	金額	業 者 名
砂入り人工芝 製造業者 6社	3,000,000	住友ゴム工業・積水樹脂・大塚ターフテック 東和織物・エスディーテック・大嘉産業
人工クレーコート 製造業者 1社	500,000	大塚ターフテック
計	3,500,000	

ウ. 一般

12団体 99名 計1,460,000円（前年度 14団体 106名 計1,590,000円）

60,000	明宏印刷(株)							
50,000	内田昌一	京都	三田ソフトテニス倶楽部	しゅくみねっと(株)				
30,000	林 敏弘	埼玉	表 孟宏	兵庫	西村信寛	東京	小原信幸	岡山
	笠井達夫	神奈川	(株)ゴーセン					
20,000	本田茂雄	宮城	ヨネックス(株)		(株)ダンロップスポーツ		サンコーマーク(株)	
	丸山印刷(株)		山口県連盟					
10,000	倉田裕司	大阪	奥田忠雄	岐阜	吉田敏彦	京都	高松政男	栃木
	松田信穂	千葉	内藤享佑	東京	長瀬二郎	東京	藤原伸二	千葉
	宮下恭子	大阪	和歌浦信雄	新潟	柳下秋久	東京	田中正男	神奈川
	川島 登	福島	星野 博	東京	斎藤元三	愛知	山本 毅	京都
	木原晴彦	広島	安藤正美	香川	吉田博紀	熊本	松谷 茂	東京
	丹崎健一	東京	神崎公宏	三重	北本英幸	石川	野際照章	京都

10,000	大川京子	千葉	井上清一	石川	北村和久	三重	阿部宗一	大阪
	鈴木正彦	群馬	萬 正一	秋田	古城郁夫	栃木	本川正明	愛知
	原田公夫	鳥取	今井誠則	広島	石井源信	神奈川	大西貞夫	大阪
	武鍵 守	広島	北山敏隆	京都	今井史郎	東京	津田 誠	愛知
	野口英一	東京	石川雅利	千葉	笛岡宣明	愛知	田中美明	埼玉
	田村哲二	栃木	山崎隆一	東京	藤崎俊朗	新潟	横野久美子	愛知
	内田政和	三重	木村芳雄	岐阜	増木博一	京都	相賀 勝	大阪
	大前秀樹	広島	秋枝正文	山口	森 通紘	佐賀	木下道夫	東京
	白水厚二	大分	大西正明	山形	林田正信	熊本	荒木稜夫	東京
	蒲原英敏	広島	牧 壮一	愛知	荒畑鈴佳	岐阜	上山親子	大阪
	長岡敏久	埼玉	山口眞護	東京	若梅明彦	千葉	藤島淑子	東京
	川上晃司	兵庫	川野 因	神奈川	高井志保	大阪	小西俊博	香川
	武田博子	広島	金岡昭房	宮城	國枝俊子	岐阜	中村正広	福岡
	保倉謙治	埼玉	田中敏彦	山梨	田辺 理	神奈川	山口正紀	広島
	橋本茂樹	東京	小野政昭	広島	佐々木寿	北海道	橋本貞夫	福島
	玉木 進	東京	井上 創	兵庫	重平静洋	岡山	天野晴夫	三重
	伊東 健	岩手	増田大吾	神奈川	堀越 浩	千葉	増田善弘	千葉
	大阪府連盟		ミズノ(株)		(株)はたの工芸社			

8. 補助金・助成金等に関する事項

(1) 補助金 合計額 11,168,000円

(公財) 日本オリンピック委員会	選手強化事業 (ナショナルチーム強化合宿)	11,168,000
------------------	-----------------------	------------

(2) 助成金 合計額 70,727,480円

(独法) 日本スポーツ振興センター (スポーツ振興基金助成金)	競技会開催(全日本選手権大会)	2,058,000
	競技会開催(JOC杯)	1,005,000
	国内合宿	7,213,000
	国際チーム派遣	1,787,000
(独法) 日本スポーツ振興センター (スポーツ振興くじ)	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3)	53,100,000
	ドーピング検査	3,414,000
ぎふ清流国体実行委員会	国民体育大会役員旅費	630,480
(公財) ヨネックススポーツ財団	全日本若手キャンプ助成金	520,000
(公財) ミズノスポーツ振興財団	ジュニア育成に対する助成金	1,000,000

(3) 交付金 合計額 3,256,250円

(公財) 日本オリンピック委員会	マーケティングプログラム交付金	2,606,000
	JOCジュニア選手強化交付金	200,000
(公財) 日本体育協会	日本スポーツマスターズ 運営補助交付金	397,300
	スポーツ指導者育成交付金	52,950

(4) 委託金 合計額 2,041,230円

(公財) 日本体育協会	日本スポーツマスターズ 委託金	2,041,230
-------------	-----------------	-----------

9. 寄付金・協賛金に関する事項

(1) 寄付金 合計額 150,000円 (前年度 1,000,000円)

(単位:円)

ソフトテニスチャリティー ゴルフ実行委員会	150,000
--------------------------	---------

(2) 協賛金 合計額 26,150,000円 (前年度 12,250,000円)

(単位:円)

ミズノ(株)「日本代表チームユニフォームオフィシャルサプライヤー協賛金」	20,000,000
(株)ゴーセン「日本代表チームストリングオフィシャルサプライヤー協賛金」	3,300,000
ナガセケンコー(株)「競技者育成プログラムSTEP-4協賛金」	1,300,000
(株)ショーワコーポレーション「競技者育成プログラムSTEP-4協賛金」	1,300,000
ミズノ(株)「全日本インドア選手権大会協賛金」	250,000

10. 傷害補償制度の給付金に関する事項

45件、1,416,000円を給付した。(前年度:36件 1,124,000円)

(単位:件)

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	7			1			8
骨折	10				1	2	13
靭帯損傷	7			1			8
肉離れ	5						5
その他	7				2	2	11
計	36			2	3	4	45

大会一覧表

別表1

月	日	大会名	種別	会場	参加者数
5	3～5	第7回アジア選手権大会日本代表予選会	男子	大阪府大阪市	136
			女子	韃靼テニスセンター	92
	19～20	第19回全日本シングルス選手権大会	男子シングルス	山形県山形市	197
			女子シングルス	山形市総合スポーツセンター	158
6	22～24	第41回ハイスクールジャパンカップ	男子ダブルス	札幌市	120
			女子ダブルス	円山庭球場・北海道立総合体育センター	120
	30	西日本シニア選手権大会	シニア男45	沖縄県沖縄市 沖縄県総合運動公園庭球場 レクリエーションドームコート	32
			シニア女45		38
			シニア男50		50
			シニア女50		66
			シニア男55		70
			シニア女55		58
			シニア男60		74
			シニア女60		94
			シニア男65		46
			シニア女65		56
			シニア男70		48
			シニア女70		32
			シニア男75		34
			シニア女75		14
7	14～15	第67回東日本選手権大会	一般男子	山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園テニスコート 緑が丘スポーツ公園テニスコート 山梨大学甲府キャンパス 山梨県笛吹市 石和中央テニスコート 石和中学校テニスコート	654
			一般女子		356
			成年男子		170
			成年女子		70
			シニア男45		110
			シニア女45		74
			シニア男50		104
			シニア女50		106
			シニア男55		126
			シニア女55		130
			シニア男60		176
			シニア女60		154
			シニア男65		112
			シニア女65		112
			シニア男70		92
			シニア女70		74
			シニア男75		42
			シニア女75		24
	21～22	第66回西日本選手権大会	一般男子		366
			一般女子		242
成年男子			88		
成年女子			28		
27～29	男子第57回 女子第56回 全日本実業団選手権大会	男子団体	東京都江東区 有明テニスの森公園	1,155	
		女子団体	東京都世田谷区 世田谷区立総合運動場庭球場	163	

月	日	大会名	種別	会場	参加者数
8	2～5	第29回全日本小学生選手権大会	男子個人	島根県出雲市	384
			男子団体	浜山公園テニスコート	432
			女子個人	島根県松江市	384
			女子団体	松江総合運動公園松江市宮庭球場	432
	3～8	全日本学生選手権大会 第66回文部科学大臣杯(大学対抗)	男子大学対抗	山口県宇部市 宇部マテ“フレッセラ”テニスコート	474
			女子大学対抗	山口県山口市	342
		第67回三笠宮賜杯(ダブルス)	男子ダブルス	山口維新百年記念公園	960
			女子ダブルス	山口大学吉田キャンパステニスコート	616
		第54回全日本学生シングルス選手権大会	男子シングルス	山口県下関市	115
			女子シングルス	下関市宮庭球場	88
	5～7	第39回全日本レディース(個人戦)	ふじ(初心者)	埼玉県熊谷市	176
			すみれ(満20歳以上)	彩の国くまがやドーム	50
			ばら(40歳以上)	熊谷さくら運動公園テニスコート	132
			ゆり(50歳以上)	埼玉県大宮市	172
			きく(55歳以上)	県営大宮第2公園テニスコート	274
			あやめ(60歳以上)	埼玉県さいたま市	336
			はぎ(65歳以上)	さいたま市天沼テニス公園	228
			さつき(70歳以上)	埼玉県川口市	202
			さくら(75歳以上)	青木町公園総合運動場庭球場	86
			もも(80歳以上)		30
	7～10	全日本高校選手権大会	女子個人	新潟県新潟市 新潟市庭球場	640
			女子団体		432
	11～14		男子個人		632
			男子団体		432
	17～19	第43回全国中学校大会	男子個人	山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園テニス場	128
			女子個人		128
			男子団体		239
			女子団体		240
28～30	第34回全日本レディース決勝大会 (都道府県対抗団体戦)	都道府県対抗	東京都江東区 有明テニスの森公園	528	
9	1～2	第40回全日本社会人選手権大会	一般男子	新潟県新潟市 新潟市庭球場	574
			一般女子	新潟県燕市 燕市スポーツパーク	216
			成年男子	新潟県長岡市 希望ヶ丘テニス場	274
			成年女子		44
	8～9	第19回JOC杯・全日本ジュニア選手権大会	男子(U-14)	広島県広島市 広島市中央庭球場	18
			女子(U-14)		15
			男子(U-17)		30
			女子(U-17)		36
			男子(U-20)		33
			女子(U-20)		25
	14～16	第16回全日本シニア選手権大会	男子45	千葉県白子町 白子町サニーテニスコート	136
			女子45		98
			男子50		134
			女子50		136
			男子55		196
			女子55		176
			男子60		210
			女子60		168

月	日	大会名	種別	会場	参加者数	
9	14～16	第16回全日本シニア選手権大会	男子65	千葉県白子町 白子町サニーテニスコート	148	
			女子65		136	
			男子70		102	
			女子70		66	
			男子75		62	
			女子75		28	
			混合45		42	
			混合50		70	
			混合55		136	
			混合60		132	
			混合65		98	
10	30	第67回国民体育大会	少年男子	岐阜県瑞浪市	112	
	少年女子		瑞浪市民テニスコート	112		
	成年男子		岐阜県土岐市	96		
	成年女子		土岐市民総合公園テニスコート	329		
10	26～28	第67回天皇賜杯皇后賜杯 全日本選手権大会	男子	鹿児島県鹿児島市	360	
			女子	鹿児島市営東開庭球場	334	
10	17～19	日本スポーツマスターズ2012	都道府県対抗	高知県高知市 高知市東部総合運動場	467	
11	2～4	第26回日本実業団リーグ	男子団体	京都府福知山市	302	
			女子団体	三段池公園テニスコート・福知山市民運動場	72	
	3～4	第19回全日本クラブ選手権大会	男子団体	千葉県白子町	1,265	
			女子団体	白子町サニーテニスコート他	330	
	11	23～26	第7回ジュニアジャパンカップ	男子(U-14)	宮崎県宮崎市 生目の杜運動公園テニスコート	38
				女子(U-14)		40
男子(U-17)				38		
女子(U-17)				38		
男子(U-20)				32		
女子(U-20)	36					
12	6～9	第30回日本リーグ	男子	広島県広島市	80	
			女子	広島県立総合体育館	76	
2	9～10	日本リーグ入替戦	男子	愛知県名古屋市	38	
			女子	露橋スポーツセンター	34	
	24	第58回全日本インドア選手権大会	男子	大阪府大阪市	24	
			女子	大阪府中央体育館	24	
3	26～28	第24回都道府県対抗全日本中学生大会	男子団体	三重県伊勢市	432	
			女子団体	三重県営サンアリーナ	432	
			男子ダブルス	三重県営総合競技場体育館	384	
			女子ダブルス	伊勢市営庭球場	384	
			男子シングルス		96	
			女子シングルス		96	
	29～30	第38回全日本高等学校選抜大会	男子団体	愛知県名古屋市	288	
			女子団体	日本ガイシスポーツプラザ	288	
	29～31	第12回全国小学生大会	男子6年生の部	千葉県白子町	89	
			女子6年生の部	白子町サニーテニスコート他	91	
			男子5年生の部		350	
女子5年生の部				360		
男子4年生以下の部				340		
女子4年生以下の部		350				

技術等級認定実績

別表2

平成25年3月31日現在

支部名	名誉指導員	Ma	Ex	S-Ex	Sp	S-Sp	1級	2級	3級	4級	合計
1 北海道	0	0	5	0	6	2	17	45	28	0	103
2 青森県	0	0	0	0	3	0	5	8	30	24	70
3 岩手県	1	0	0	0	3	0	1	23	14	7	49
4 宮城県	0	0	1	0	14	0	6	9	38	0	68
5 秋田県	0	0	0	0	1	0	4	14	29	2	50
6 山形県	0	0	0	0	8	0	5	14	49	0	76
7 福島県	0	0	3	2	7	0	3	26	54	0	95
8 茨城県	0	0	0	1	7	0	7	16	34	7	72
9 栃木県	0	0	0	0	6	0	2	75	12	34	129
10 群馬県	0	0	0	0	14	0	10	25	30	29	108
11 埼玉県	0	0	1	5	10	2	56	87	68	84	313
12 千葉県	0	0	0	0	6	0	4	12	11	34	67
13 東京都	0	0	1	1	6	1	33	29	31	38	140
14 神奈川県	0	0	2	0	10	0	3	29	35	0	79
15 山梨県	0	0	0	0	5	0	13	37	36	68	159
16 新潟県	0	0	1	0	2	0	5	38	19	0	65
17 長野県	0	0	0	0	4	0	0	8	78	1,818	1,908
18 富山県	0	0	5	0	0	0	0	4	14	21	44
19 石川県	0	0	1	0	4	0	5	14	43	100	167
20 福井県	0	0	0	0	4	0	4	6	2	19	35
21 静岡県	0	0	0	0	4	0	8	10	38	5	65
22 愛知県	0	0	3	6	9	3	12	57	48	130	268
23 三重県	0	0	2	0	5	0	17	6	34	8	72
24 岐阜県	0	0	5	4	2	0	7	16	23	6	63
25 滋賀県	0	0	0	0	3	0	4	5	34	0	46
26 京都府	0	0	2	1	3	0	0	14	26	2	48
27 大阪府	0	0	1	0	4	0	13	66	26	27	137
28 兵庫県	0	0	2	0	8	0	11	50	9	11	91
29 奈良県	0	0	2	0	5	0	0	5	27	0	39
30 和歌山県	0	0	0	0	7	0	2	16	18	95	138
31 鳥取県	0	0	0	0	1	0	0	9	0	18	28
32 島根県	0	0	0	0	5	0	0	0	7	12	24
33 岡山県	0	0	0	0	6	0	3	17	21	0	47
34 広島県	0	0	3	1	4	1	11	19	21	0	60
35 山口県	0	0	4	0	4	0	20	44	23	0	95
36 徳島県	0	0	5	0	6	0	4	9	20	0	44
37 香川県	0	0	4	0	9	0	2	2	12	14	43
38 愛媛県	0	0	0	0	3	2	0	12	29	51	97
39 高知県	0	0	2	0	3	0	0	2	18	4	29
40 福岡県	0	0	1	0	5	0	2	11	30	0	49
41 佐賀県	0	0	0	0	10	0	1	5	31	0	47
42 長崎県	0	0	0	0	1	0	10	18	24	24	77
43 熊本県	0	0	1	0	3	0	4	71	273	344	696
44 大分県	0	0	0	0	4	0	0	0	6	6	16
45 宮崎県	0	0	1	0	0	0	1	70	39	0	111
46 鹿児島県	0	0	0	0	8	1	5	0	37	0	51
47 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	31
48 日本学連	0	0	30	0	78	0	54	56	0	0	218
合計	1	0	88	21	320	12	374	1,109	1,560	3,042	6,527
前年度	0	0	86	19	422	13	413	1,135	1,481	3,124	6,693

公認審判員認定実績

別表3

平成25年3月31日現在

No	支部	認定者数									合計
		マスター レフェリー	マスター アンパイヤー	1級審判員		2級審判員				ジュニア	
				新規	更新	一般		高校			
						新規	更新	新規	移行		
1	北海道	0	1	0	4	161	294	186	579	2,144	3,369
2	青森県	4	0	0	13	52	247	16	66	219	617
3	岩手県	1	0	4	3	95	86	86	690	1,403	2,368
4	宮城県	0	0	4	12	94	760	79	109	455	1,513
5	秋田県	0	0	0	7	61	87	83	284	918	1,440
6	山形県	0	0	0	4	20	266	38	269	784	1,381
7	福島県	0	0	0	13	76	121	94	545	2,661	3,510
8	茨城県	1	0	0	8	151	762	79	54	256	1,311
9	栃木県	0	0	3	3	50	406	74	27	126	689
10	群馬県	2	2	1	4	64	382	88	113	209	865
11	埼玉県	0	11	0	7	227	1,624	420	124	1,983	4,396
12	千葉県	2	0	3	5	138	757	154	451	3,458	4,968
13	東京都	5	14	0	7	176	165	245	42	132	786
14	神奈川県	8	2	0	14	202	199	103	437	7,505	8,470
15	山梨県	0	0	0	0	24	386	101	71	89	671
16	新潟県	4	4	0	6	94	122	76	395	2,643	3,344
17	長野県	1	0	0	2	119	528	231	22	90	993
18	富山県	1	0	0	9	44	336	44	3	23	460
19	石川県	0	0	0	4	42	75	79	220	901	1,321
20	福井県	5	0	0	6	34	107	20	23	89	284
21	静岡県	2	3	0	3	125	182	149	399	3,825	4,688
22	愛知県	1	2	1	2	335	529	206	21	32	1,129
23	三重県	0	0	0	4	38	55	44	30	120	291
24	岐阜県	0	0	0	8	15	218	67	27	170	505
25	滋賀県	0	0	0	3	60	530	40	43	34	710
26	京都府	2	0	1	2	65	383	54	26	136	669
27	大阪府	0	0	0	6	190	227	164	19	61	667
28	兵庫県	1	0	2	8	225	67	93	15	23	434
29	奈良県	8	0	2	0	30	294	123	19	30	506
30	和歌山県	0	0	0	0	16	31	61	0	131	239
31	鳥取県	1	0	2	4	31	38	33	16	31	156
32	島根県	1	0	0	0	3	229	0	11	34	278
33	岡山県	2	3	0	8	43	47	73	51	116	343
34	広島県	3	1	0	2	88	939	201	38	76	1,348
35	山口県	4	1	0	5	52	449	105	56	176	848
36	徳島県	1	0	0	2	8	161	13	0	4	189
37	香川県	0	0	0	0	61	230	34	39	47	411
38	愛媛県	0	0	0	5	49	30	85	17	150	336
39	高知県	0	0	0	3	27	69	13	16	24	152
40	福岡県	0	1	0	2	81	398	120	79	568	1,249
41	佐賀県	0	0	0	0	48	207	43	21	1,515	1,834
42	長崎県	0	0	0	3	308	150	52	107	1,470	2,090
43	熊本県	0	0	0	2	30	235	33	358	1,449	2,107
44	大分県	8	1	1	2	49	60	71	12	100	304
45	宮崎県	0	0	0	3	8	35	98	10	104	258
46	鹿児島県	0	0	0	0	96	96	65	41	130	428
47	沖縄県	3	0	0	0	113	51	28	20	102	317
48	日本学連	0	0	0	0	585	0	440	0	0	1,025
合計		71	46	24	208	4,703	4,804	13,650	6,015	36,746	66,267
前年度		60	18	93	168	4,182	4,895	12,841	4,733	31,318	58,308

会員登録実績

別表4

平成25年3月31日現在

支部名	指導者	一般		小学生		中学生		高校生		高専		大学生		合計	
	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
1 北海道	223	184	2,396	34	539	277	8,113	153	3,225	3	93	0	12	651	14,601
2 青森	178	54	561	9	170	99	3,785	41	835	0	0	2	37	205	5,566
3 岩手	316	60	1,138	29	446	141	4,276	71	1,966	1	24	0	11	302	8,177
4 宮城	100	72	766	19	426	156	3,651	81	2,505	2	25	0	31	330	7,504
5 秋田	195	38	631	13	306	79	2,750	44	1,166	1	15	0	0	175	5,063
6 山形	76	37	569	19	354	71	3,064	46	1,358	1	3	0	0	174	5,424
7 福島	340	76	687	26	513	163	6,764	74	1,609	1	35	0	1	340	9,949
8 茨城	369	70	849	17	565	201	9,691	82	2,146	1	4	0	1	371	13,625
9 栃木	40	41	757	16	426	126	5,825	51	1,183	0	20	0	18	234	8,269
10 群馬	127	51	1,058	20	602	156	7,316	52	1,423	1	10	1	24	281	10,560
11 埼玉	228	220	4,079	32	1,141	370	18,757	132	4,494	0	7	0	165	754	28,871
12 千葉	547	116	1,983	20	466	342	17,242	116	3,101	1	5	0	6	595	23,350
13 東京	213	133	2,921	25	449	326	10,750	186	4,316	1	10	0	95	671	18,754
14 神奈川	535	104	1,189	14	357	359	19,596	128	2,878	0	0	0	5	605	24,560
15 山梨	22	50	635	15	322	24	437	33	956	0	0	0	12	122	2,384
16 新潟	207	58	947	22	456	159	5,230	64	1,336	1	9	0	0	304	8,185
17 長野	171	32	1,497	18	429	121	4,403	70	1,520	1	15	0	10	242	8,045
18 富山	78	25	381	15	354	62	2,330	28	891	0	0	0	0	130	4,034
19 石川	26	54	728	20	364	74	3,684	36	948	2	27	1	51	187	5,828
20 福井	50	35	506	5	141	40	1,509	16	598	1	17	0	5	97	2,826
21 静岡	526	133	1,602	25	774	316	14,098	81	1,534	1	26	1	11	557	18,571
22 愛知	249	167	3,088	19	676	359	20,216	145	5,686	0	32	0	34	690	29,981
23 三重	69	47	703	17	379	155	6,895	47	1,302	1	13	0	11	267	9,372
24 岐阜	29	61	943	28	613	254	7,232	51	1,858	0	14	0	13	394	10,702
25 滋賀	74	26	509	12	409	74	1,039	39	1,429	0	0	1	0	152	3,460
26 京都	95	80	866	16	397	139	5,186	54	1,391	0	0	1	3	290	7,938
27 大阪	255	102	1,807	15	258	263	8,157	199	3,242	0	1	0	8	579	13,728
28 兵庫	158	85	1,544	15	241	306	16,556	148	4,836	2	46	0	2	556	23,383
29 奈良	80	35	912	8	140	64	2,996	28	846	0	0	0	9	135	4,983
30 和歌山	68	52	717	15	287	104	3,501	31	864	1	34	0	0	203	5,471
31 鳥取	71	33	424	11	189	36	1,065	24	585	1	23	1	4	106	2,361
32 島根	63	45	386	12	220	54	1,751	41	871	1	2	0	16	153	3,309
33 岡山	151	71	690	12	186	136	5,326	66	2,073	1	33	0	0	286	8,459
34 広島	187	118	1,403	15	314	143	4,968	97	2,769	2	66	0	66	375	9,773
35 山口	163	72	1,152	8	266	103	4,529	57	1,664	3	80	0	5	243	7,859
36 徳島	96	25	347	8	119	92	2,082	26	534	1	27	1	13	153	3,218
37 香川	71	31	407	9	186	51	2,476	30	764	2	9	0	0	123	3,913
38 愛媛	158	34	591	12	229	133	4,514	66	1,321	1	12	0	2	246	6,827
39 高知	64	25	337	10	146	43	1,174	23	438	1	0	0	16	102	2,175
40 福岡	455	73	1,131	20	367	192	6,949	144	2,573	4	57	0	55	433	11,587
41 佐賀	201	20	416	15	302	76	2,998	39	836	0	0	0	0	150	4,753
42 長崎	379	52	928	14	289	155	4,979	105	1,988	1	38	0	85	327	8,686
43 熊本	394	64	913	17	293	148	5,022	61	1,471	2	46	1	21	293	8,160
44 大分	159	58	638	9	138	101	2,285	24	604	0	35	0	14	192	3,873
45 宮崎	255	60	639	22	425	153	3,276	39	944	1	33	0	1	275	5,573
46 鹿児島	142	108	1,251	33	324	202	4,645	82	1,206	2	47	1	3	428	7,618
47 沖縄	97	43	655	12	181	53	1,389	30	424	0	3	0	18	138	2,767
48 日本学連	1	0	2	0	0	0	1	0	3	0	9	461	6,906	461	6,922
49 日本連盟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,751	3,230	49,279	797	17,174	7,251	284,478	3,281	82,510	46	1,005	472	7,800	15,077	450,997
昨年度	7,771	3,228	50,221	779	17,297	7,387	284,886	3,332	81,730	49	918	479	8,076	15,254	450,899